

令和 5 年第 2 回定例会

防災環境産業委員会資料

(議案関係)

- 第 82 号議案 令和 5 年度茨城県一般会計補正予算 (第 1 号) 2

(繰越明許費)

- 令和 4 年度茨城県一般会計予算繰越明許費 4

令和 5 年 6 月 1 6 日

県民生活環境部

第 82 号議案

令和 5 年度茨城県一般会計補正予算（第 1 号）

○歳出予算補正（県民生活環境部分）

【部局別】〔令和 5 年第 2 回茨城県議会定例会議案概要説明書 3 ページより〕（単位：千円）

事項	補正予算額	特定財源	一般財源
県民生活環境部	1,951,000	国庫支出金 1,951,000	—

【歳出項目別】〔歳入歳出補正予算事項別明細書 13 ページより〕（単位：千円）

項目	補正前の額（A）	今回補正額（B）	計（A+B）
4 生活環境費	6,575,858	1,951,000	8,526,868
2 環境保全費	4,754,163	1,951,000	6,705,163
1 環境管理費	341,954	1,951,000	2,292,954
12 委託料	—	35,860	35,860
18 負担金、補助及び交付金	—	1,915,140	1,915,140

主要事業等の概要

県民生活環境部 環境政策課

事業名又は議案の名称	いばらきエネルギーシフト促進事業																						
1 予算額	1,951,000千円																						
2 現況・課題	原油価格等の高騰が長引くなか、事業者の電気代等の負担が増大しており、長期的な視点からの事業者への支援が必要である。																						
3 必要性・ねらい	全ての業種を対象として再生可能エネルギーの導入を促進し、事業者の負担軽減を図るとともに、県内産業におけるエネルギーの転換を図る。																						
4 事業の内容 (事業フロー、年次別・全体計画等)	※令和4年度事業と同スキーム 1 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者が、県内事業所に太陽光発電設備、蓄電池を導入する際の経費の一部を補助する。 ・再生可能エネルギーの導入を促進し、県内産業におけるエネルギーの転換を図る。 2 対象 <ul style="list-style-type: none"> ・全ての業種を対象として、県内に事業所を設置（又は設置予定）している事業者 3 対象設備 <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備、蓄電池 ※原則、発電した電気を自家消費すること。																						
	4 補助金額 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">設 備</th> <th style="width: 30%;">補助額</th> <th style="width: 50%;">金額上限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>太陽光</td> <td>12万円/kW</td> <td>1億2,000万円</td> </tr> <tr> <td>蓄電池</td> <td>9万円/kWh</td> <td>「太陽光発電設備が8h発電する電気を蓄電できる容量」×9万円/kWh</td> </tr> </tbody> </table> ※対象設備の導入に係る経費については、要件を満たした場合、県融資制度等の活用も可能（補助金分除く）			設 備	補助額	金額上限	太陽光	12万円/kW	1億2,000万円	蓄電池	9万円/kWh	「太陽光発電設備が8h発電する電気を蓄電できる容量」×9万円/kWh											
設 備	補助額	金額上限																					
太陽光	12万円/kW	1億2,000万円																					
蓄電池	9万円/kWh	「太陽光発電設備が8h発電する電気を蓄電できる容量」×9万円/kWh																					
5 参考事項 (過去の実績、他県の状況、関連データ等)	【財源】 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金) ※R5.3.29：県への交付限度額決定 【令和4年度「いばらきエネルギーシフト促進事業」申請状況】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 15%;">募集時期</th> <th style="width: 35%;">予算額</th> <th style="width: 40%;">申請件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次</td> <td>8月</td> <td>15億7,500万円</td> <td>139件</td> </tr> <tr> <td>2次</td> <td>9月</td> <td>(※)</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>3次</td> <td>10月</td> <td>7億 875万円</td> <td>63件</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td>22億8,375万円</td> <td>224件</td> </tr> </tbody> </table> ※2次募集は、1次募集の残額により50kW未満のみ募集			区分	募集時期	予算額	申請件数	1次	8月	15億7,500万円	139件	2次	9月	(※)	22件	3次	10月	7億 875万円	63件	合 計		22億8,375万円	224件
区分	募集時期	予算額	申請件数																				
1次	8月	15億7,500万円	139件																				
2次	9月	(※)	22件																				
3次	10月	7億 875万円	63件																				
合 計		22億8,375万円	224件																				

令和4年度茨城県一般会計予算繰越明許費繰越計算書〔令和5年第2回定例会 報告 4～5ページより〕

(単位：円)

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳		
					既収入 特定財源	未収入 特定財源	一般財源
4 生活環境費	3 環境保全費	二酸化炭素削減拡大プロジェクト事業費	2,426,486,000	2,000,977,000	—	国庫 2,000,977,000	—
		有害廃棄物等撤去事業費	40,594,000	14,119,000	—	繰入金 7,060,000 諸収入 3,529,000 計 10,589,000	3,530,000
		産業廃棄物処理施設確保対策費	695,044,000	669,360,000	—	県債 669,300,000	60,000

令和 5 年第 2 回定例会

防災環境産業委員会資料

(主な事務事業等の経過)

- | | | |
|---|---|----|
| 1 | アクアワールド茨城県大洗水族館の営業状況等について | |
| | 【生活文化課】 | 2 |
| 2 | 茨城県立県民文化センター（ザ・ヒロサワ・シティ会館）の指定管理者の更新について | |
| | 【生活文化課】 | 3 |
| 3 | 茨城県鳥獣センターの指定管理者の更新について | |
| | 【環境政策課】 | 4 |
| 4 | 令和 4 年度森林湖沼環境税活用事業の実績について | |
| | 【環境対策課】 | 5 |
| 5 | 霞ヶ浦の令和 4 年度水質概況について | |
| | 【環境対策課】 | 18 |
| 6 | 新産業廃棄物最終処分場の整備について | |
| | 【資源循環推進課】 | 20 |
| 7 | サイクルツーリズムの推進について | |
| | 【スポーツ推進課】 | 22 |

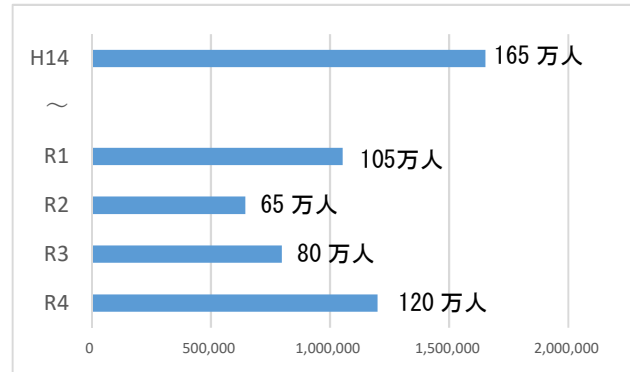
令和 5 年 6 月 1 6 日

県民生活環境部

1 入館者数の状況

令和4年度の入館者数は、120万人と歴代第3位となり、コロナ禍前の令和元年度（105万人）よりも増加。

施設のリニューアルのほか、民間派遣の館長（令和2年度～）による経営改革や魅力的な水槽展示、効果的な情報発信などにより着実に誘客を促進。



2 昨年度（令和4年度）の主な取組み

（1）新たな魅力の発信

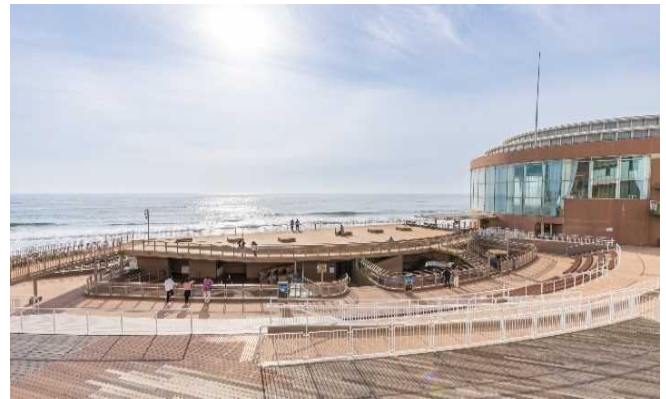
国内で初めて繁殖に成功したサメ（シロワニ）とアニメ（ベイビーシャーク）とのコラボイベントやクラゲ大水槽の演出強化など、継続的に新たな魅力を発信。



（2）オーシャンテラスのリニューアル等

新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金等を活用し、施設の魅力向上と長寿命化につながる工事を実施（5.7億円）。

- ・ 「もっと近くで、もっと驚きを」をテーマに、ペンギンやアシカをより近くで観察し、楽しめるよう、屋外エリア「オーシャンテラス」をリニューアル
- ・ 照明設備の更新・LED化、外壁塗装の改修、遊具の改修・抗菌化等



（3）入場料金の改定

「オーシャンテラス」のリニューアルをはじめとした施設のバリューアップ、電気代の高騰、全国の主要水族館の料金引き上げの状況を総合的に勘案し、入場料金を引き上げ。

大人：2,000円→2,300円、小・中学生900円→1,100円、幼児(3歳以上)300円→400円

3 今年度（令和5年度）の主な取組み

季節毎に展示内容を変える水槽や、人気キャラクターとのコラボイベントなどにより、年間を通じて新たな魅力を発信し続け、さらなる誘客促進に取り組む。

【主なイベント予定】

- 7月～10月 すみっコぐらしとのコラボイベント
- 2月～3月 茨城ロボッツ（Bリーグ）コラボイベント
- 通年 季節の花（ネモフィラ、秋バラ等）がテーマの水槽



茨城県立県民文化センター（ザ・ヒロサワ・シティ会館）の 指定管理者の更新について

生活文化課

1 施設の概要

- (1) 名 称 茨城県立県民文化センター（通称：ザ・ヒロサワ・シティ会館）
- (2) 所 在 地 茨城県水戸市千波町東久保 697 番地
- (3) 設置目的 文化芸術の振興と県民教養の高揚を図り本県の文化水準の向上に寄与する
- (4) 設置根拠 茨城県立県民文化センターの設置及び管理に関する条例
- (5) 施設概要 大ホール（1,514 席）、小ホール（386 席）、展示室、集会室等

2 指定管理業務の内容

施設の使用の承認、施設の維持管理、音楽・舞踊その他舞台芸術の振興に関する業務 等

3 指定管理期間の設定

5 年間（令和 6 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日）

4 指定管理者の選定方法

公募により選定する

5 選定委員会の設置

外部有識者 3 名、県関係 2 名、合計 5 名により審査を行う

6 指定管理者更新スケジュール

- ・ 公募（7 月～9 月） 募集要項等の公告、現地説明会の開催、申請受付
- ・ 選定（10 月～11 月） 選定委員会における審査
- ・ 指定管理者の指定（12 月） 議会の議決、県報への公告
- ・ 基本協定の協議、締結（1 月～3 月）

茨城県鳥獣センターの指定管理者の更新について

環境政策課

1 施設の概要

- (1) 名 称 茨城県鳥獣センター
- (2) 所在地 茨城県那珂市戸 4336 番 6 外
- (3) 設置目的 野生鳥獣の観察の場として、県民の利用に供するとともに、傷病鳥獣を保護・飼養する
- (4) 設置根拠 茨城県自然観察施設の設置及び管理に関する条例
- (5) 施設概要
 - ・施設面積：約 19,000 m²
 - ・主要施設：事務室、保護・飼養施設、展示施設、その他

2 指定管理業務の内容

- (1) 施設の運営
- (2) 施設の維持管理業務
- (3) 傷病鳥獣等の保護・飼養等業務 等

3 指定管理期間の設定

5年間（令和6年4月1日～令和11年3月31日）

4 指定管理者の選定方法

公募により選定する

5 選定委員会の設置

外部有識者3名、県関係2名、合計5名により審査を行う

6 指定管理者更新スケジュール

- ・公募（7月～9月のうち2ヶ月間） 募集要項等の公告、現地説明会の開催、申請受付
- ・選定（10月～11月） 選定委員会における審査
- ・指定管理者の指定（12月） 議会の議決、県報への公告
- ・基本協定の協議、締結（1月～3月）

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績について

令和4年度 森林湖沼環境税 税収額・支出額

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

	当初計画	決算見込み
税収額	1,779,026千円	1,784,784千円
支出額〔税充当額〕	2,092,122千円 (314,523千円)	1,272,849千円 (313,133千円)
森林の保全・整備	1,241,576千円 (236,665千円)	711,093千円 (235,306千円)
湖沼・河川の水質保全	850,546千円 (77,858千円)	561,756千円 (77,827千円)

※ 当初計画の支出額（事業への税充当額）と税収額の差については、前年度までの森林湖沼環境基金の残額を充当

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【森林関係】

1 自立した林業経営による適切な森林の整備・管理

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

事業内容	当初計画	実績	
いばらきの森再生事業			
経営規模の拡大に意欲的な林業経営体が行う再造林、間伐等の森林整備に対し補助	再造林 150ha 間伐 1,165ha (再造林・間伐の計 400ha)	再造林 121ha 間伐 441ha (再造林・間伐の計 404ha)	 <p>人工林伐採後の再造林</p>
	739,320千円 (194,320千円)	406,444千円 (192,975千円) ※このほか、R5年度に繰り越して実施予定	
いばらき林業トッランナー育成支援事業			
本県林業を牽引するトッランナーを育成するため、経営規模の拡大に意欲的な経営体による高性能林業機械やスマート林業技術の導入に対し補助	スマート林業に取り組む経営体 5経営体 150,000千円	スマート林業に取り組む経営体 6経営体 71,021千円 ※このほか、R5年度に繰り越して実施予定	 <p>高性能林業機械による伐採作業</p>

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【森林関係】

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

事業内容	当初計画	実績	
種苗生産体制整備事業			
<p>再造林の推進に伴い供給増が求められている林業用苗木の安定供給を図るため、採種園を整備するとともに、コンテナ苗の生産技術を改良</p>	<p>採種園整備 0.1ha</p> <p>コンテナ苗の生産に係る技術改良</p> <p>3,000千円</p>	<p>採種園整備 0.1ha</p> <p>コンテナ苗の生産に係る技術改良</p> <p>2,611千円</p>	 <p>コンテナ苗生産に係る技術改良</p>
いばらき木づくりチャレンジ事業			
<p>県産木材の利用促進を図るため、モデルとなる建築物の木造化・木質化等の取組に対し補助</p>	<p>木造化・木質化 10施設 (3施設)</p> <p>木製品導入 1施設</p> <p>157,800千円 (30,000千円)</p>	<p>木造化・木質化 3施設 (3施設)</p> <p>木製品導入 1施設</p> <p>41,276千円 (30,000千円)</p> <p>〔 ※このほか、R5年度に繰り越して実施予定 〕</p>	 <p>建築物の木造化 (竣工した大子町新庁舎)</p>

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【森林関係】

2 森林環境の保全

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

事業内容	当初計画	実績	
海岸防災林機能強化事業			
海岸防災林の機能強化を図るため、松くい虫被害予防の薬剤散布や広葉樹等の植栽を実施	薬剤散布 4 2 5 ha 広葉樹等植栽 8 ha 植栽地下刈 6 0 ha 130,000千円	薬剤散布 4 2 5 ha 広葉樹等植栽 6 ha 植栽地下刈 5 7 ha 129,125千円	 <p>下刈り後の植栽地</p>
森林・林業体験学習促進事業			
森林環境教育を推進するため、小中学生等を対象に森林・林業に係る体験学習を実施 森林湖沼環境税の意義や森林の働き・重要性等を啓発するため広報を実施	体験学習参加者 3, 5 0 0人 普及啓発活動の 実施 21,560千円	体験学習参加者 5, 5 9 1人 普及啓発活動の 実施 21,001千円	 <p>中学生の丸太切り体験</p>  <p>森林・林業に係る普及啓発活動</p>

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【森林関係】

(カッコ書きは前年度からの繰越分)

事業内容	当初計画	実績	
筑波山ブナ林保護対策事業			
筑波山のブナ林保護のため、生育環境の整備等を実施	ロープ柵設置 80m ブナ林の調査 2,417千円	ロープ柵設置 300m ブナ林の調査 (ブナ開花調査等) 筑波山ブナ林保護 対策委員会の開催 2,298千円	 <p>ブナ林保護対策委員会開催の様子</p>
第46回全国育樹祭開催準備事業			
令和5年11月11日(土)・12日(日)に開催する第46回全国育樹祭に向け、所要の準備を実施	実行委員会設立 第45回全国育樹祭出席 開催1年前イベント開催 実施計画策定 25,134千円	実行委員会設立 (5月) 第45回全国育樹祭出席 (11月・大分県) 開催1年前イベント開催 (12月・常陸太田市) 実施計画策定 (3月) 24,986千円	 <p>式典行事での次期開催県知事あいさつ (第45回全国育樹祭 大分県)</p>

令和4年度事業実施による効果【森林関係】

1 自立した林業経営を目指す経営体による森林経営集約化面積

令和3年度末：13,498ha → 令和4年度末：15,805 ha

2 森林整備（再造林、間伐等）による効果

(1) 森林整備の効果を公益的機能の観点から金額換算

→ 約9億2千万円に相当

①水源涵養：3億6千万円 ②土砂流出等防止：2億4千万円 ③二酸化炭素吸収：3億2千万円

(2) 森林整備に係る費用対効果は、約2.2倍（効果：9億2千万円／費用：4億1千万円）

令和5年度 of 取組【森林関係】

自立した林業経営により、適切な森林整備と森林資源の循環利用を推進することとして、引き続き、以下の施策に取り組んでいく

1 自立した林業経営による適切な森林の整備・管理

- 森林経営の集約化の加速、スマート林業など生産能力の向上に取り組むトップランナー経営体の育成
- 経営規模の拡大に意欲的な経営体による再造林の推進
- 素材生産量の増大を見据えた県産木材の利用推進

2 森林環境の保全

- 沿岸部の生活を守る海岸防災林の松くい虫被害対策
- 森林・林業体験学習による森林環境教育
- 第46回全国育樹祭の開催

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【湖沼関係】

1 生活排水等対策

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)



事業内容	当初計画	実績	
霞ヶ浦流域等高度処理型浄化槽補助事業			
<p>浄化効果の高いNP型高度処理型浄化槽設置促進のため、上乘せ補助を実施</p> <p>単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進するため、撤去費用や宅内配管工事費を補助</p> <p>※NP型浄化槽設置補助・単独浄化槽撤去補助・宅内配管工事補助。複数の補助を利用した場合1件と計上</p>	<p>補助件数※ 934件</p> <p>400,177千円</p>	<p>補助件数※ 1,062件</p> <p>296,957千円</p>	 <p>高度処理型浄化槽の設置</p>
湖沼水質浄化下水道接続支援事業・農業集落排水施設接続支援事業			
<p>下水道及び農業集落排水の整備済み地域において、未接続世帯を解消するために市町村が行う接続支援に対して補助</p>	<p>下水道 979件 (222件)</p> <p>212,918千円 (62,618千円)</p> <p>農業集落排水施設 120件</p> <p>26,000千円</p>	<p>下水道 551件※ (222件)</p> <p>85,445千円 (62,618千円)</p> <p>※このほか、R5年度に繰り越して実施予定</p> <p>農業集落排水施設 101件</p> <p>16,004千円</p>	 <p>左:下水道接続工事 右:農業集落排水施設接続工事</p>

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【湖沼関係】

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

事業内容	当初計画	実績	
霞ヶ浦・北浦点源負荷削減対策事業			
工場・事業場の排水基準の遵守徹底等のため、水質保全相談指導員を配置し、工場・事業場の立入検査等を実施	立入検査 2,100件 71,554千円	立入検査 2,277件 57,833千円	 <p>工場への立入検査</p>

2 農地・畜産対策

事業内容	当初計画	実績	
良質堆肥広域流通促進事業			
<p>畜産系負荷削減のため、霞ヶ浦・涸沼流域内で生産された堆肥を流域外で利用する集団（畜産農家と耕種農家で構成）への取組に対して補助</p> <p>家畜排せつ物の適正な処理と良質な堆肥等の生産を促進するための施設整備や機械導入等への補助</p>	<p>堆肥利用実証ほの設置 79ha (29ha)</p> <p>整備箇所数 4か所 (1か所)</p> <p>67,118千円 (15,240千円)</p>	<p>堆肥利用実証ほの設置 140ha (29ha)</p> <p>整備箇所数 4か所※ (1か所)</p> <p>※このほか、R5年度に繰り越して実施予定</p> <p>37,139千円 (15,209千円)</p>	  <p>左上:良質堆肥の散布 右下:堆肥舎</p>

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【湖沼関係】


3 県民意識の醸成

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)


事業内容	当初計画	実績	
県民参加水質保全活動推進事業			
子どもの頃から水辺環境に親しみ水環境保全の重要性を学ぶため、霞ヶ浦湖上体験スクールを実施	参加者数 3,200人 22,251千円	参加者数 3,882人 25,086千円	 <p>湖上体験スクール</p>
水質保全市民活動・環境学習等推進事業			
市民活動を促進するため、環境保全活動や環境学習に必要な機材の貸出し及び市民団体への活動費補助を実施 霞ヶ浦自然観察会などの体験型環境学習等を実施	補助団体数 10団体 11,955千円	補助団体数 11団体 11,467千円	 <p>市民団体の環境保全活動を支援</p>

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【湖沼関係】

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

事業内容	当初計画	実績	
漁場環境・生態系保全活動支援事業			
漁業者等による植生（ヨシ）帯の保全活動等に対して補助	支援団体数 5活動組織 2,000千円	支援団体数 5活動組織 1,342千円	 <p>植生(ヨシ)帯の保全活動</p>

4 水辺環境の保全

事業内容	当初計画	実績	
漁業による水質浄化機能促進事業			
未利用魚の回収委託（魚体を通じた窒素・りん除去）	未利用魚回収量 320トン 13,085千円	未利用魚回収量 303.6トン 11,897千円	 <p>未利用魚を回収</p>

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【湖沼関係】

(カッコ書きは前年度からの繰越分)

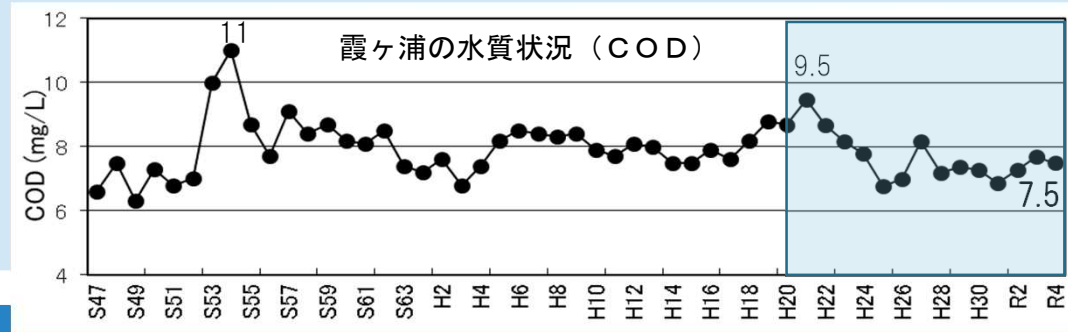
事業内容	当初計画	実績	
アオコ対策事業			
霞ヶ浦流域や千波湖におけるアオコ回収等の実施	アオコ回収等 3,500千円	アオコ発生情報等を 関係機関と共有 (回収等対策が必要な アオコの発生は無し) 213千円	 <p data-bbox="1659 847 1921 874">アオコフェンスの設置</p>
霞ヶ浦水質環境改善事業			
霞ヶ浦等の水質改善に向けた調査研究	水質改善に向けた調査研究 19,988千円	水質改善に向けた調査研究 18,373千円	 <p data-bbox="1552 1350 2011 1377">霞ヶ浦環境科学センターにおける研究</p>

令和4年度事業実施による成果【湖沼関係】

高度処理型浄化槽への転換や下水道等への接続、堆肥の流域外利用等により、河川・湖沼への汚濁負荷を削減

年間負荷削減量 COD：64.2トン 全窒素：約66.6トン[82%] 全りん：約6.74トン[98%]
 [達成率約96%]

→平均的な家庭が1年間に排出する汚濁負荷量(COD)約9,200世帯分に相当



令和5年度の取組【湖沼関係】

霞ヶ浦等の水質を着実に改善していくよう、引き続き水質浄化効果が高い事業に重点化して実施する。

ア 生活排水等対策の推進

- 単独処理浄化槽の撤去費・宅内配管工事費補助を行い、合併処理型浄化槽への転換を促進
- 霞ヶ浦流域等において、浄化能力の高いNP型高度処理型浄化槽の設置及び下水道等への接続を促進
- 霞ヶ浦流域において、規制強化した小規模事業所に対し、立入検査・改善指導等を実施

イ 農地・畜産対策の推進

- 霞ヶ浦及び涸沼流域内での良質な堆肥等の生産とそれらの流域外利用を促進

ウ その他（県民意識の醸成、水辺環境の保全）

- 霞ヶ浦湖上体験スクールの実施や環境学習指導者の養成
- 未利用魚の回収（魚体に含まれる窒素やりんの湖外への取り出し）

県民に対する森林湖沼環境税の周知

【森林・湖沼共通】

森林及び湖沼・河川の環境保全の重要性、必要性を広く県民の皆様に理解いただくため、以下のような取組を通じて普及啓発を図っていく。

- ・ 県広報紙「ひばり」への特集記事掲載
- ・ 森林・林業体験学習、湖上体験スクールを通じた子供たちへの環境教育
- ・ 子供向け読本の作成・配布
- ・ イベント等を活用したPR
- ・ 啓発グッズの作成・配布
- ・ 県HPでの広報
- ・ いばキラTVを通じた啓発動画の公開



県広報紙「ひばり」R4年7月号



イベントにおけるPR
(R4.11.23 グリーンフェスティバル)



PR動画の公開

霞ヶ浦の令和4年度水質概況について

環境対策課

1 湖内の状況

(1) COD (図1)

全水域平均で7.5 mg/Lとなり、令和3年度(7.7 mg/L)より0.2 mg/L低くなった。近年は7 mg/L台で推移している。

(2) 全窒素 (図2)

全水域平均で0.69 mg/Lとなり、令和3年度(0.83 mg/L)より0.14 mg/L低くなった。長期的には横ばいだが、近年は低下傾向で推移している。

(3) 全りん (図3)

全水域平均で0.083 mg/Lとなり、令和3年度(0.10 mg/L)より0.017 mg/L低くなった。平成10年度以降、横ばいで推移している。

図1 COD(年平均値)

水域/年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7目標
西浦	6.9	6.7	6.4	6.7	7.2	6.9	6.4
北浦	8.4	8.4	7.8	8.7	9.0	8.9	8.2
常陸利根川	7.5	7.6	7.1	7.1	7.6	7.2	6.8
全水域平均	7.4	7.3	6.9	7.3	7.7	7.5	6.9

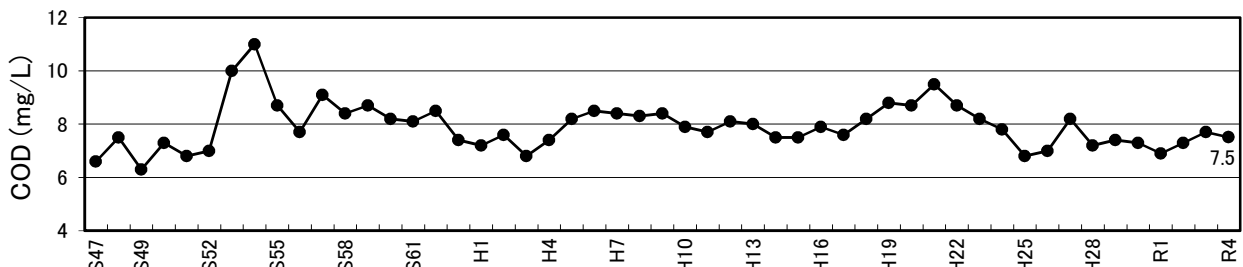


図2 全窒素(年平均値)

水域/年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7目標
西浦	0.99	0.88	1.1	0.82	0.82	0.62	0.77
北浦	1.2	1.3	1.4	1.3	0.94	0.94	1.2
常陸利根川	0.86	0.96	1.1	0.80	0.74	0.58	0.76
全水域平均	1.0	1.0	1.1	0.94	0.83	0.69	0.88

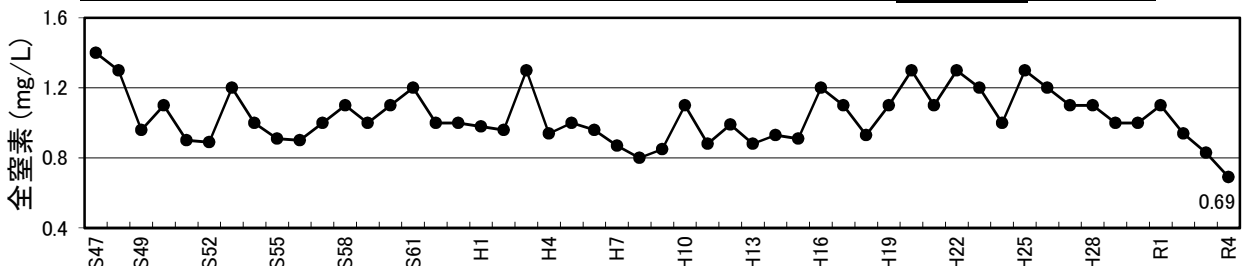
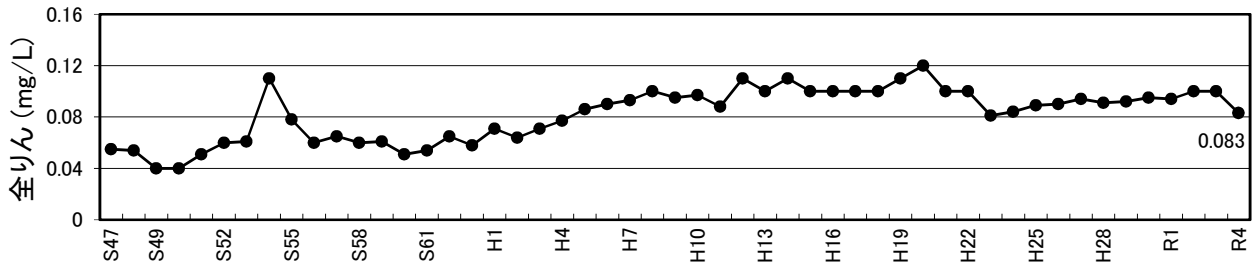


図3 全りん(年平均値)

水域/年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7目標
西浦	0.086	0.084	0.088	0.092	0.098	0.077	0.087
北浦	0.11	0.12	0.11	0.13	0.11	0.096	0.12
常陸利根川	0.088	0.093	0.091	0.097	0.095	0.083	0.093
全水域平均	0.092	0.095	0.094	0.10	0.10	0.083	0.095



2 流入河川の状況

(1) COD

西浦及び北浦流入河川ともに、長期的には低下傾向にある。

(2) 全窒素

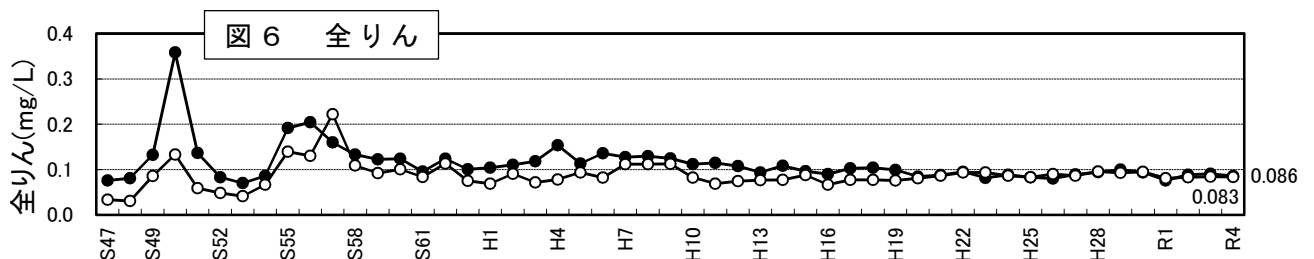
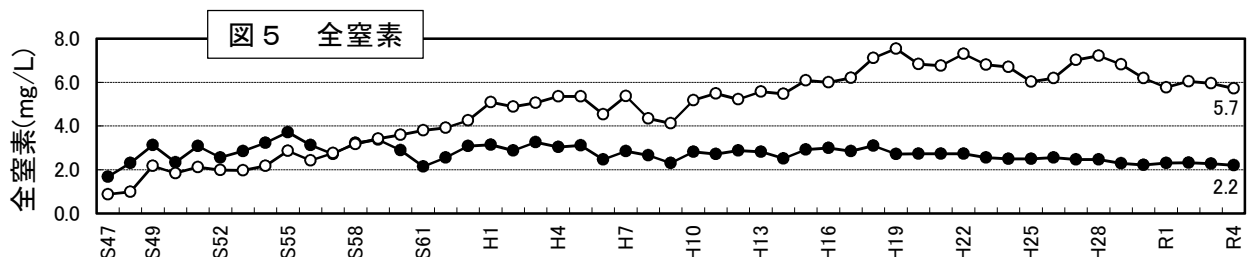
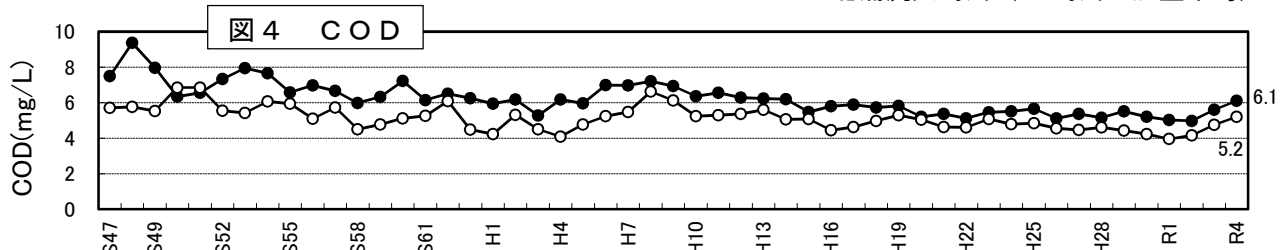
西浦流入河川は、長期的には横ばいである。

北浦流入河川は、平成15年度以降ほぼ6～7 mg/L程度で推移している。

(3) 全りん

西浦及び北浦流入河川ともに、近年は0.1 mg/L以下で推移している。

● 西浦流入河川 (14河川の加重平均)
○ 北浦流入河川 (8河川の加重平均)



新産業廃棄物最終処分場の整備について

資源循環推進課

1 新産業廃棄物最終処分場整備事業の取組状況について

(1) 新産業廃棄物最終処分場の整備

- ・ 本年（2023年）3月末に新産業廃棄物最終処分場の施設配置、規模、構造等の基本設計が完了
- ・ 基本設計の概要版を作成し、日立市民に広くご理解いただけるよう広報・啓発を実施予定
- ・ 本年（2023年）4月から、事業主体である（一財）茨城県環境保全事業団が実施設計を実施中

(2) 新産業廃棄物最終処分場周辺道路の整備

- ・ 新設道路整備は、地質調査、詳細設計等を実施しており、今後、用地取得予定
- ・ 県道 37 号の片側歩道整備（上諏訪橋付近～処分場）・局部改良（大平田集会所付近～処分場）及び油縄子交差点は、詳細設計を実施中
- ・ 梅林通りのガードパイプ設置は、6月に着工し、11月までに完了予定
- ・ 今後、地権者や4学区コミュニティなどの関係者に対して、道路計画等の周知・説明を実施予定

(3) 生活環境影響調査

- ・ （一財）茨城県環境保全事業団において、廃棄物処理法に基づく大気質や騒音などの生活環境影響調査を実施済み
- ・ 第4回生活環境調査委員会（令和5年3月実施）で予測及び影響の分析を行った結果、施設の稼働後も生活環境の保全目標を達成するとの評価
- ・ 建設工事による周辺環境への影響などについても、予測及び評価を実施予定

2 整備のスケジュールについて

年度	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9～ (2027)
処分場 整備	実施設計	建設工事			埋立開始 ※1
	生活環境 影響調査				
新設道路	測量・設計 用地取得等	建設工事 ※2			

☆供用開始

【令和8(2026)年度末】

※1 第2期～第4期埋立地の遮水工は、埋立ての進捗に合わせて整備予定

浸出水第2調整槽は、第2期埋立地の埋立開始までに整備予定

浸出水の処理施設や第1調整槽は、令和8(2026)年度末の供用開始までに整備予定

※2 用地取得や関係機関協議が順調に進んだ場合

1 埋立地（オープン型）

搬入された廃棄物を埋立てる場所

- 浸出水の発生を抑制するため、埋立地を2区画に分け、下流側（北側）から埋立を開始する
- 周辺環境保全のため、廃棄物を即日覆土するセル方式とする

面積：約9.3ha 埋立容量：約240万m³
埋立計画量：約10万m³/年
埋立期間：20～23年
埋立地構造：準好気性埋立構造

2 貯留構造物

廃棄物層の流出や崩壊を防ぎ、埋立てられた廃棄物を安全に貯留させるために設置
盛土構造によるアースダムを採用

◇受入対象廃棄物

[産業廃棄物]

燃え殻、汚泥（無機性のものに限る）、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず（廃石膏ボードを含む）、鋳さい、がれき類、ばいじん

[一般廃棄物]

地方公共団体の焼却施設から出た焼却灰等、災害廃棄物

◇受入基準

法令より厳しい基準を採用

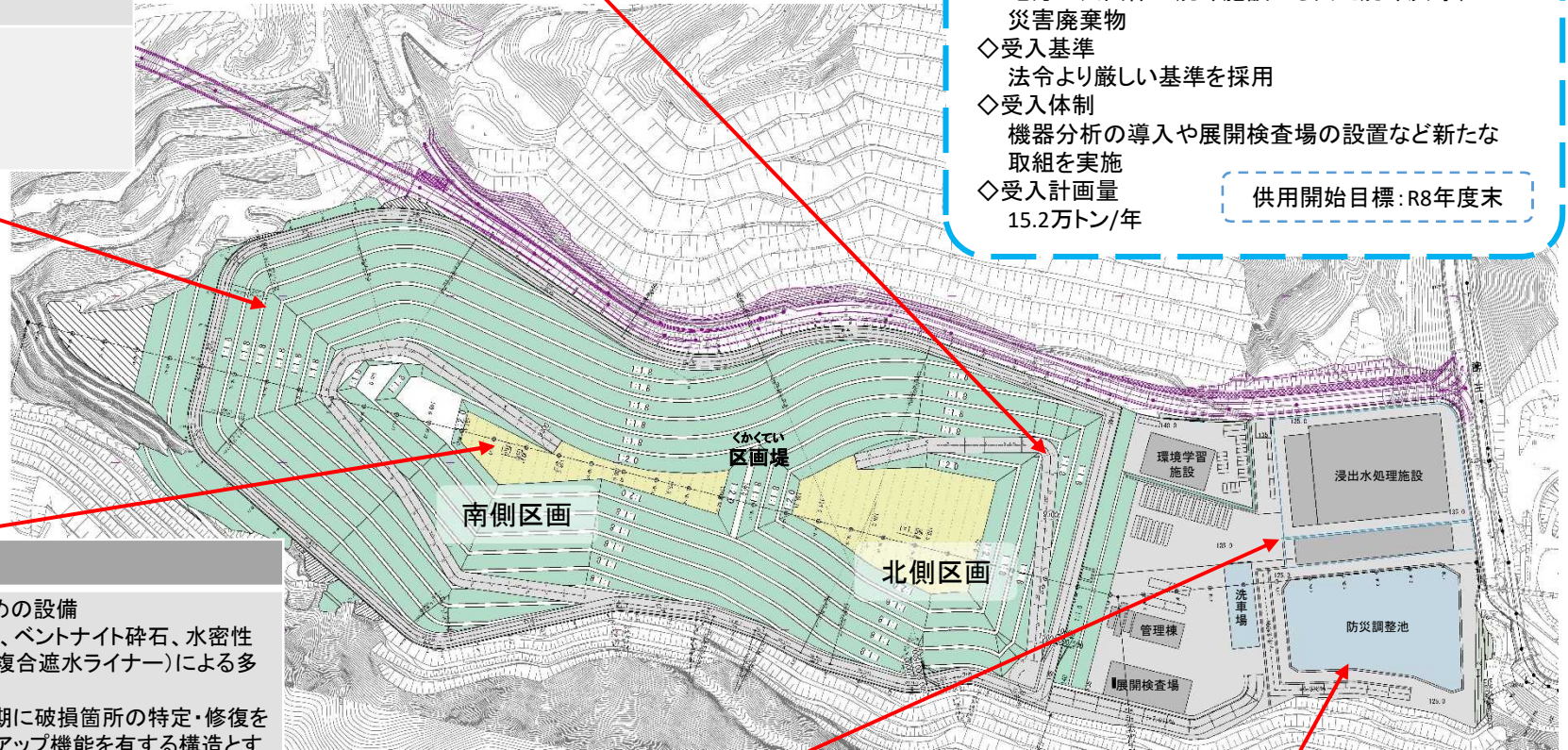
◇受入体制

機器分析の導入や展開検査場の設置など新たな取組を実施

◇受入計画量

15.2万トン/年

供用開始目標：R8年度末



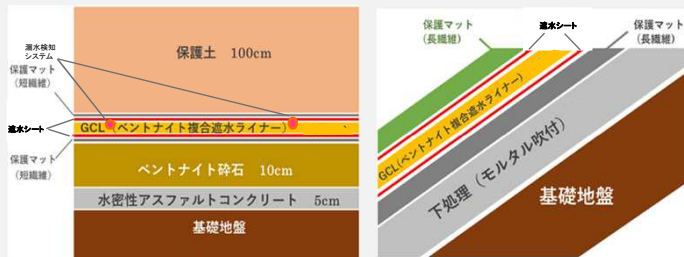
3 遮水工

埋立地内の浸出水を外部へ漏出させないための設備

- 基準省令に基づく二重の遮水シートに加え、ベントナイト砕石、水密性アスファルトコンクリート、GCL（ベントナイト複合遮水ライナー）による多重の遮水構造とする
- 万が一、遮水シートが破損した場合に、早期に破損箇所の特定・修復を行うための漏水検知システムによるバックアップ機能を有する構造とする

〔本処分場の遮水工概念図〕

【表面遮水工（埋立地内）】



4 浸出水処理施設

埋立地内から発生する浸出水を滞りなく貯留及び浄化するための施設
（浄化処理後は下水道へ放流）

処理能力：400m³/日
調整槽容量：28,000m³程度

5 防災調整池

埋立地の周辺で降った雨水の流出量の増大を抑制し、鮎川の流下能力に見合った放流量を調整するための施設

容量：35,000m³程度

サイクルツーリズムの推進について

スポーツ推進課

1 令和4年度サイクルツーリズム推進事業の主な実績

(1) つくば霞ヶ浦りんりんロードの利用者数（推計値※沿線定点観測をもとに推計）

- 利用者数 125,000人
- 対前年度比 15,000人増（1.14倍）
- 概況
 - ・ 利用者数は堅調に増加

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
利用者数(人)	39,000	48,000	55,000	81,000	93,000	105,000	110,000	125,000
対前年度比(人)	—	+9,000 (1.23倍)	+7,000 (1.15倍)	+26,000 (1.47倍)	+12,000 (1.15倍)	+12,000 (1.13倍)	+5,000 (1.05倍)	+15,000 (1.14倍)

- ・ 広域レンタサイクルの貸出台数も大きく増加

	R3	R4	増減 (R4-R3)
広域レンタサイクル貸出台数	3,161台	3,876台	+715台 (1.23倍)

(2) 県内サイクリングイベント

- ・ プレデスティネーション期間を中心に、新たなサイクリングイベントやレースの開催など、沿線市町村や民間による取組は増加。

	R3年度	R4年度	増減 (R4-R3)
サイクリングイベント件数 (沿線市町村・民間)	29件	69件	+40件 (2.38倍)

2 各種プロモーション

(1) 台北サイクル2023出展

台湾最大のサイクルショーに出展し、本県のサイクルツーリズムをPR

【開催日】令和5年3月22日（水）～25日（土）

【場 所】南港エキシビションセンター（台湾・台北市）

【主 催】台湾貿易センター（TAITRA）（日本のジェトロに相当）

【来場者】17,600人



(2) TXサイクルトレイン

- ・ つくばエクスプレス、初めてのサイクリスト限定の臨時列車を運行
- ・ 雨天により当日キャンセルも発生したが、参加者からは「自転車を分解せずに済みとても楽」、「到着が早い」など好評。

【実施日】令和5年3月25日（土）

（往路）南千住（8:03発）～八潮（8:16発）

～研究学園（8:54着）

（復路）研究学園（16:21発）～

八潮（16:51着）～南千住（17:07着）

【参加者】28名（定員72名）

【主催】首都圏新都市鉄道株式会社



(3) CYCLE MODE TOKYO出展

- ・ 国内最大のサイクルショーに、ナショナルサイクルルートの一つとして出展
- ・ 多くの首都圏サイクリスト等から、行き方や見どころの質問が寄せられた

【開催日】令和5年4月15日（土）～16日（日）

【場所】東京ビッグサイト

【主催】サイクルモード実行委員会

【来場者】23,800人



3 サイクリングイベント

- ・ 様々な主体による多彩なサイクリングイベント開催（上半期予定）

イベント名	主催	開催日	概要
霞ヶ浦サイクルーズ	土浦市・潮来市・行方市・かすみがうら市	4/29、5/3、5/6、9/30	遊覧船に自転車を載せ、寄港先（土浦港、歩崎栈橋、玉造栈橋、潮来港）から様々なコースで霞ヶ浦を満喫
いばチャリ in 常陸大宮	茨城放送・常陸大宮市	5/28	茨城放送ラジオパーソナリティーがゲストライダーとして参加者と交流（約30km、スタート・ゴール：美和地域センター）
2023K1 （第3回新霞ヶ浦一周サイクリング大会）	いばらきサイクリング協会	6/4	霞ヶ浦一周（霞ヶ浦大橋コース約90km、高浜フルコース約125km）を走るサイクリング大会（スタート・ゴール：霞ヶ浦総合公園）
いばらきKOM in 八溝山	大子町	7/16	大子広域公園を会場に、茨城最高峰八溝山のヒルクライムレース（スタート：旧浅川小学校前、ゴール：八溝山富士見ヶ丘）
駅からサイクリング	JR東日本水戸支社	5/1～7/31	ひたちなか市～大洗町～水戸市等を走行する、観光流動の促進としてJR東日本水戸支社が実施するサイクリングイベント
水郡線サイクルトレインキャンペーン	大子町	4/29～7/2	水郡線サイクルトレインの魅力をSNS発信してくれた方にオリジナルスタッフバック進呈

県出資団体の事業実績等資料

(令和5年第2回定例会防災環境産業委員会資料)

- 1 公益財団法人いばらき文化振興財団【生活文化課】・・・・・・・・ 2

令和5年6月16日

県民生活環境部

県出資法人 事業実績・事業計画の概要

1 出資法人の概要

所管部局課 県民生活環境部 生活文化課

① 法人の名称	公益財団法人いばらき文化振興財団				
② 所在地	水戸市千波町東久保 697 番地				
③ 設立年月日	平成 4 年 7 月 17 日				
④ 代表者名	理事長 小室 昌彦 (R2. 5. 29～)				
⑤ 基本財産	基本財産 30,000,000 円				
⑥ 設立根拠	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律				
⑦ 設立目的・経緯	各種の文化振興事業を行うことにより県民文化の振興を図り、文化の県づくりに寄与することを目的に設立された。平成 11 年 4 月には社会福祉法人茨城県文化福祉事業団の文化部門を統合し、茨城県立県民文化センター及び大洗水族館の管理運営等の事業を行うこととなった。平成 25 年 4 月 1 日に公益財団法人へ移行した。				
⑧ 組織	役職員数	理事 12 人	監事 2 人	評議員 12 人	常勤職員 67 人 有期雇用職員等 68 人
	(組織機構) 評議員会 — 理事会 ○事務局 総務課 ○県民文化センター 事業推進課・サービス課・施設課 ○アクアワールド茨城県大洗水族館 総務課・経営企画課・事業推進課・魚類展示課・海獣展示課・施設課・業務課				
⑨ 出資状況	茨城県 30,000,000 円 (基本財産) 出資割合 100%				
⑩ 資産状況 (令和 5 年 3 月末現在)	(単位：千円)				
		金額		摘要	
	流動資産	1,129,993		現金預金等	
	固定資産	1,972,029		基本財産、特定資産 (助成事業積立資産、事業資金積立資産等)	
	資産合計	3,102,022			
	流動負債	320,593		未払金 (電気料他) 等	
	固定負債	557,354		退職給付引当金、リース負債	
負債合計	877,947				
正味財産	2,224,075				

2 令和4年度事業実績

(1) 事業内容

ア 県民文化センターの管理運営等

① 施設利用者数実績

利用者数 339,509 人 (R3 : 237,272 人、対前年増減 102,237 人)

② 県からの委託事業

- ・ 県民文化センター指定管理事業
- ・ 芸術鑑賞機会の提供 16 事業 入場者 16,202 人 (R3 : 14 事業 14,802 人)
- ・ 文化芸術体験出前講座 (一般県民を対象とし、公立文化施設等で開催する「一般枠」及び児童・生徒を対象とし、学校へ講師を派遣する「学校枠」の2枠で計 109 講座を実施) 入場者 14,840 人 (R3 : 10,032 人)

③ 自主事業

- ・ 県内の文化芸術活動に対する助成 60 件 助成額 14,167 千円 (R3 : 43 件 13,061 千円)
- ・ 新進演奏家の支援・育成、地域文化資源の継承・活用 7 事業 入場者 2,956 人 (R3 : 9 事業 1,337 人)
- ・ 売店事業 売店利用者数 8,145 人 売店売上額 3,716 千円 (R3 : 4,861 人 2,303 千円)
- ・ 駐車場事業 利用台数 120,653 台 駐車場収入 23,585 千円 (R3 : 80,745 台 13,398 千円)

イ アクアワールド大洗水族館の運営

① 入館者実績

入館者数 1,200,700 人 (R3 : 798,883 人、対前年増減 401,817 人)

② 飼育展示事業・調査研究事業

- ・ 新種「オトヒメクラゲ」の初展示や当館で初繁殖となったネムリブカの幼魚の展示
- ・ 国内で初めて繁殖に成功した「シロワニ」と世界的人気アニメ「ベイビーシャーク」とのコラボレーションイベント「ベイビーシャーク in アクアワールド・大洗」を開催
- ・ ギンビス「たべっこ水族館」とのコラボレーションによるクイズラリーや、特別版イルカショー、イワシのライブショーを実施
- ・ バックヤードツアーの実施 参加者数 7,109 人 等

③ 教育普及事業

- ・ 自然体験塾、マスタースクールの実施 12 講座 23 回 参加者数 367 人
- ・ 教育機関等への講師派遣 講師派遣 4 校、オンライン授業 2 校
- ・ 職場体験、バックヤード見学の受入 参加者数 1,461 人 等

④ 誘客促進事業

- ・ 「SUMMER AQUAWORLD2022 ～HOT&COOL」等の季節イベントを実施したほか、夜間は日中と異なる雰囲気鑑賞を楽しむナイトイベント「NIGHT AQUAWORLD」を、毎週土曜日を中心に開催 等

⑤ 飲食店・売店

- ・ レジ袋を 1 枚 5 円～20 円と有料化し、提供枚数は約 1/2 削減
- ・ オリジナル商品の開発・新規販売や限定商品の取扱い等 売上実績 873,486 千円 (R3 : 561,868 千円、対前年増減 311,618 千円) 等

(2) 収支状況

(単位：千円)

	金額	摘要
基本財産運用益	313	
補助金等	183,129	財団運営費補助金 47,747 等
事業収益	2,868,336	水族館入場料 1,589,296、県民文化センター利用料 93,220、 県民文化センター指定管理料 193,362 等
その他の収入	57,405	特定資産運用益 2,236 等
経常収益計①	3,109,183	
事業費	2,656,032	委託費（設備保守、警備等）609,492、給料手当 546,650、 光熱水費 269,774 等
管理費	14,605	退職給付費用 3,586、事務局職員給料手当 3,314、 消耗品費 520 等
経常費用計②	2,670,637	
当期経常増減額③ (①－②)	438,546	
当期経常外増減額④	△346	
当期一般正味財産 増減額（当期利益）⑤ (③＋④)	438,200	
正味財産期首残高⑥	1,785,875	
正味財産期末残高⑦ (⑤＋⑥)	2,224,075	

(3) 補助金等の受入状況

(単位：千円)

	金額	摘要
補助金	183,129	財団運営費補助金等 155,663 助成金収益（文化庁等） 27,466
委託金	236,453	受託公演委託金 27,369 県民文化センター指定管理料 193,362 自然博物館水系展示水槽管理業務委託金 15,722

3 令和5年度事業計画

(1) 事業内容

ア 県民文化センターの管理運営等

- ① 施設利用者数目標 450,000 人
- ② 県からの委託事業
 - ・ 県民文化センター指定管理事業
 - ・ 芸術鑑賞機会の提供 22 事業 入場者 22,140 人
 - ・ 文化芸術体験出前講座
音楽、伝統文化、美術、食文化、室内楽演奏会等 116 回
- ③ 自主事業
 - ・ 県内の文化芸術活動に対する助成 助成予定 95 件 22,377 千円
 - ・ 新進演奏家の支援・育成、地域文化資源の継承・活用 8 事業 入場者 2,950 人
 - ・ 駐車場事業 駐車場収入 20,378 千円

イ アクアワールド大洗水族館

- ① 入館者数目標 1,198,251 人
- ② 飼育展示事業
 - ・ IWASHI LIFE の演出強化方法の検討
 - ・ サメの繁殖研究・展示
 - ・ R5.3 月にリニューアルオープンしたオーシャンテラスにおけるペンギンやカリフォルニアアシカを観覧通路に出して行う「ペンギンと記念撮影」、「カリフォルニアアシカとの握手」の実施 等
- ③ 教育普及事業
 - ・ 事前募集型の「自然体験塾」 17 講座 24 回
 - ・ 「水族館バックヤードツアー」の継続実施と季節のイベント等と連動した付帯事業の実施
 - ・ 実習生、研修会等の受入れ 等
- ④ 誘客促進事業
 - ・ サメの飼育種類日本一としてサメのブランド化の推進
 - ・ WEB チケットの継続活用と館内マップ等の電子化による非接触入場の推進
 - ・ 茨城 DC の参画やインバウンド誘致のため県や町と連携した商品造成、ホテル宿泊プランや旅行代理店によるツアー企画とユニークメニューの実施拡大による新規顧客の開拓 等
- ⑤ 飲食店・売店
 - ・ 売上額 770,732 千円

(2) 収支計画

(単位：千円)

	金 額	摘 要
基本財産運用益	312	
補助金等	72,328	財団運営費補助金 51,878 等
事業収益	3,045,215	水族館入場料 1,862,518、県民文化センター利用料 92,000、 県民文化センター指定管理料 193,426 等
その他の収入	57,630	特定資産運用益 2,564 等
経常収益計①	3,175,485	
事業費	3,010,638	委託費（設備保守、警備等）569,614、給料手当 589,188 光熱水費 493,866 等
管理費	16,567	退職給付費用 2,048、事務局職員給料手当 4,213 等
経常費用計②	3,027,205	
当期経常増減額③ (①－②)	148,280	
当期一般正味財産 増減額（当期利益）④ (=③)	148,280	
正味財産期首残高⑤	2,339,412	
正味財産期末残高⑥ (④＋⑤)	2,487,692	

(3) 補助金等の受入予定

(単位：千円)

	金 額	摘 要
補助金	70,328	財団運営費補助金 51,878 助成金 18,450
委託金	238,586	受託公演委託金 28,111 県民文化センター指定管理料 193,426 自然博物館水系展示水槽管理業務委託金 17,049

県 出 資 団 体 等 改 革 工 程 表

(令和5年第2回定例会防災環境産業委員会資料)

- 1 鹿島共同再資源化センター株式会社【資源循環推進課】 2

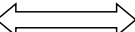
令和5年6月16日

県民生活環境部

改革工程表2(年度別計画)

団体名	鹿島共同再資源化センター(株)	所管部局課名	県民生活環境部資源循環推進課
-----	-----------------	--------	----------------

取り組むべき項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<p>安定的な経営体制の確立・施設維持管理の適正実施</p> <p>1 廃棄物処理量の維持</p>	<p>年間51,000t以上の受入量の確保</p> <p>[52,472t]</p>	<p>年間51,000t以上の受入量の確保</p> <p>[49,764t]</p>	<p>年間51,000t以上の受入量の確保</p> <p>[28,000t]</p>
<p>2 経常利益の黒字化、損失の抑制</p> <p>・令和4年度までは、老朽化による突発故障を防止することで受入量を確保し、収益の改善を目標とした。</p> <p>・令和5年度は、令和5年11月に事業停止予定であることから、収入(廃棄物処理量)が減少するため、損失の抑制が必要。</p>	<p>経費縮減・計画的修繕の実施による経常利益の達成(黒字化)</p> <p>[経常利益 26,212千円] [繰越損失 2,137,665千円]</p>	<p>経費縮減・計画的修繕の実施による経常利益の達成(黒字化)</p> <p>[経常損失 238,904千円] [繰越損失 2,377,573千円]</p>	<p>経費縮減・計画的修繕の実施による経常利益の達成(黒字化)</p> <p>【損失の抑制】</p>
<p>3 法人の今後のあり方の検討</p> <p>鹿島地方事務組合の新ごみ処理施設が、令和6年4月に稼働予定であること等を踏まえ、当法人は、令和5年11月末日に事業停止することを決定した。施設の処分等、今後のあり方や、法人の解散・清算の時期等について、検討する必要がある。</p> <p>【令和5年3月末 資本金 3,308,000千円】</p>	<p>関係者間において法人のあり方を検討</p> <p>【「当法人と主要株主との間で協議を重ねていく」との方針を決定】</p>	<p>関係者間において法人のあり方を検討</p> <p>【令和4年度に協議を重ねた結果、令和5年5月に「令和5年11月末日に事業停止し、解散・清算について、当法人と主要株主との間で協議を重ねていく」との方針を決定】</p>	<p>関係者間において法人のあり方を検討</p>
<p>4 進行管理結果の公表</p>	<p>関係者間において法人のあり方を検討</p> <p>【R3. 6月 県議会報告】 【R3. 6月 県ホームページ公表】</p>	<p>関係者間において法人のあり方を検討</p> <p>【R4. 6月 県議会報告】 【R4. 6月 県ホームページ公表】</p>	<p>関係者間において法人のあり方を検討</p>

※注  は改革期間及び推進事項を表示。[]は目標達成状況、【 】は修正後の目標を表示

令和 5 年第 2 回定例会

防災環境産業委員会資料

(議案関係)

- 第 82 号議案 令和 5 年度茨城県一般会計補正予算 (第 1 号) 2

(繰越明許費)

- 令和 4 年度茨城県一般会計予算繰越明許費 4

令和 5 年 6 月 1 6 日

県民生活環境部

第 82 号議案

令和 5 年度茨城県一般会計補正予算（第 1 号）

○歳出予算補正（県民生活環境部分）

【部局別】〔令和 5 年第 2 回茨城県議会定例会議案概要説明書 3 ページより〕（単位：千円）

事項	補正予算額	特定財源	一般財源
県民生活環境部	1,951,000	国庫支出金 1,951,000	—

【歳出項目別】〔歳入歳出補正予算事項別明細書 13 ページより〕（単位：千円）

項目	補正前の額（A）	今回補正額（B）	計（A+B）
4 生活環境費	6,575,858	1,951,000	8,526,868
2 環境保全費	4,754,163	1,951,000	6,705,163
1 環境管理費	341,954	1,951,000	2,292,954
12 委託料	—	35,860	35,860
18 負担金、補助及び交付金	—	1,915,140	1,915,140

主要事業等の概要

県民生活環境部 環境政策課

事業名又は議案の名称	いばらきエネルギーシフト促進事業																						
1 予算額	1,951,000千円																						
2 現況・課題	原油価格等の高騰が長引くなか、事業者の電気代等の負担が増大しており、長期的な視点からの事業者への支援が必要である。																						
3 必要性・ねらい	全ての業種を対象として再生可能エネルギーの導入を促進し、事業者の負担軽減を図るとともに、県内産業におけるエネルギーの転換を図る。																						
4 事業の内容 (事業フロー、年次別・全体計画等)	※令和4年度事業と同スキーム 1 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者が、県内事業所に太陽光発電設備、蓄電池を導入する際の経費の一部を補助する。 ・再生可能エネルギーの導入を促進し、県内産業におけるエネルギーの転換を図る。 2 対象 <ul style="list-style-type: none"> ・全ての業種を対象として、県内に事業所を設置（又は設置予定）している事業者 3 対象設備 <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備、蓄電池 ※原則、発電した電気を自家消費すること。																						
	4 補助金額 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">設 備</th> <th style="width: 30%;">補助額</th> <th style="width: 50%;">金額上限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>太陽光</td> <td>12万円/kW</td> <td>1億2,000万円</td> </tr> <tr> <td>蓄電池</td> <td>9万円/kWh</td> <td>「太陽光発電設備が8h発電する電気を蓄電できる容量」×9万円/kWh</td> </tr> </tbody> </table> ※対象設備の導入に係る経費については、要件を満たした場合、県融資制度等の活用も可能（補助金分除く）			設 備	補助額	金額上限	太陽光	12万円/kW	1億2,000万円	蓄電池	9万円/kWh	「太陽光発電設備が8h発電する電気を蓄電できる容量」×9万円/kWh											
設 備	補助額	金額上限																					
太陽光	12万円/kW	1億2,000万円																					
蓄電池	9万円/kWh	「太陽光発電設備が8h発電する電気を蓄電できる容量」×9万円/kWh																					
5 参考事項 (過去の実績、他県の状況、関連データ等)	【財源】 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金) ※R5.3.29：県への交付限度額決定 【令和4年度「いばらきエネルギーシフト促進事業」申請状況】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 15%;">募集時期</th> <th style="width: 30%;">予算額</th> <th style="width: 45%;">申請件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次</td> <td>8月</td> <td>15億7,500万円</td> <td>139件</td> </tr> <tr> <td>2次</td> <td>9月</td> <td>(※)</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>3次</td> <td>10月</td> <td>7億 875万円</td> <td>63件</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td>22億8,375万円</td> <td>224件</td> </tr> </tbody> </table> ※2次募集は、1次募集の残額により50kW未満のみ募集			区分	募集時期	予算額	申請件数	1次	8月	15億7,500万円	139件	2次	9月	(※)	22件	3次	10月	7億 875万円	63件	合 計		22億8,375万円	224件
区分	募集時期	予算額	申請件数																				
1次	8月	15億7,500万円	139件																				
2次	9月	(※)	22件																				
3次	10月	7億 875万円	63件																				
合 計		22億8,375万円	224件																				

令和4年度茨城県一般会計予算繰越明許費繰越計算書〔令和5年第2回定例会 報告 4～5ページより〕

(単位：円)

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳		
					既収入 特定財源	未収入 特定財源	一般財源
4 生活環境費	3 環境保全費	二酸化炭素削減拡大プロジェクト事業費	2,426,486,000	2,000,977,000	—	国庫 2,000,977,000	—
		有害廃棄物等撤去事業費	40,594,000	14,119,000	—	繰入金 7,060,000 諸収入 3,529,000 計 10,589,000	3,530,000
		産業廃棄物処理施設確保対策費	695,044,000	669,360,000	—	県債 669,300,000	60,000

令和 5 年第 2 回定例会

防災環境産業委員会資料

(主な事務事業等の経過)

- 1 アクアワールド茨城県大洗水族館の営業状況等について
 【生活文化課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 茨城県立県民文化センター（ザ・ヒロサワ・シティ会館）の指定管理者
 の更新について【生活文化課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 3 茨城県鳥獣センターの指定管理者の更新について
 【環境政策課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 4 令和 4 年度森林湖沼環境税活用事業の実績について
 【環境対策課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 5 霞ヶ浦の令和 4 年度水質概況について
 【環境対策課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 8
- 6 新産業廃棄物最終処分場の整備について【資源循環推進課】・・・・ 2 0
- 7 サイクルツーリズムの推進について【スポーツ推進課】・・・・・・ 2 2

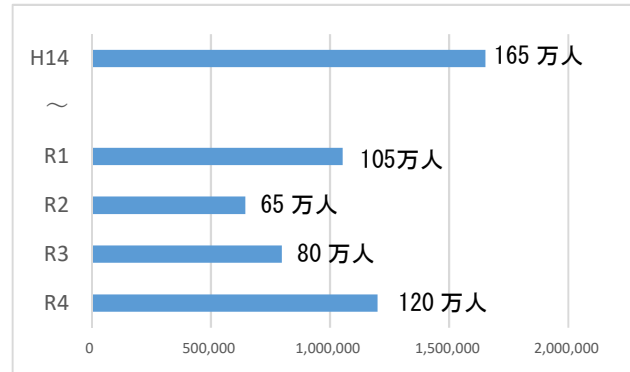
令和 5 年 6 月 1 6 日

県 民 生 活 環 境 部

1 入館者数の状況

令和4年度の入館者数は、120万人と歴代第3位となり、コロナ禍前の令和元年度（105万人）よりも増加。

施設のリニューアルのほか、民間派遣の館長（令和2年度～）による経営改革や魅力的な水槽展示、効果的な情報発信などにより着実に誘客を促進。



2 昨年度（令和4年度）の主な取組み

（1）新たな魅力の発信

国内で初めて繁殖に成功したサメ（シロワニ）とアニメ（ベイビーシャーク）とのコラボイベントやクラゲ大水槽の演出強化など、継続的に新たな魅力を発信。



（2）オーシャンテラスのリニューアル等

新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金等を活用し、施設の魅力向上と長寿命化につながる工事を実施（5.7億円）。

- ・ 「もっと近くで、もっと驚きを」をテーマに、ペンギンやアシカをより近くで観察し、楽しめるよう、屋外エリア「オーシャンテラス」をリニューアル
- ・ 照明設備の更新・LED化、外壁塗装の改修、遊具の改修・抗菌化等



（3）入場料金の改定

「オーシャンテラス」のリニューアルをはじめとした施設のバリューアップ、電気代の高騰、全国の主要水族館の料金引き上げの状況を総合的に勘案し、入場料金を引き上げ。

大人：2,000円→2,300円、小・中学生 900円→1,100円、幼児(3歳以上) 300円→400円

3 今年度（令和5年度）の主な取組み

季節毎に展示内容を変える水槽や、人気キャラクターとのコラボイベントなどにより、年間を通じて新たな魅力を発信し続け、さらなる誘客促進に取り組む。

【主なイベント予定】

- 7月～10月 すみっコぐらしとのコラボイベント
- 2月～3月 茨城ロボッツ（Bリーグ）コラボイベント
- 通年 季節の花（ネモフィラ、秋バラ等）がテーマの水槽



茨城県立県民文化センター（ザ・ヒロサワ・シティ会館）の 指定管理者の更新について

生活文化課

1 施設の概要

- (1) 名 称 茨城県立県民文化センター（通称：ザ・ヒロサワ・シティ会館）
- (2) 所 在 地 茨城県水戸市千波町東久保 697 番地
- (3) 設置目的 文化芸術の振興と県民教養の高揚を図り本県の文化水準の向上に寄与する
- (4) 設置根拠 茨城県立県民文化センターの設置及び管理に関する条例
- (5) 施設概要 大ホール（1,514 席）、小ホール（386 席）、展示室、集会室等

2 指定管理業務の内容

施設の使用の承認、施設の維持管理、音楽・舞踊その他舞台芸術の振興に関する業務 等

3 指定管理期間の設定

5 年間（令和 6 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日）

4 指定管理者の選定方法

公募により選定する

5 選定委員会の設置

外部有識者 3 名、県関係 2 名、合計 5 名により審査を行う

6 指定管理者更新スケジュール

- ・ 公募（7 月～9 月） 募集要項等の公告、現地説明会の開催、申請受付
- ・ 選定（10 月～11 月） 選定委員会における審査
- ・ 指定管理者の指定（12 月） 議会の議決、県報への公告
- ・ 基本協定の協議、締結（1 月～3 月）

茨城県鳥獣センターの指定管理者の更新について

環境政策課

1 施設の概要

- (1) 名 称 茨城県鳥獣センター
- (2) 所在地 茨城県那珂市戸 4336 番 6 外
- (3) 設置目的 野生鳥獣の観察の場として、県民の利用に供するとともに、傷病鳥獣を保護・飼養する
- (4) 設置根拠 茨城県自然観察施設の設置及び管理に関する条例
- (5) 施設概要
 - ・施設面積：約 19,000 m²
 - ・主要施設：事務室、保護・飼養施設、展示施設、その他

2 指定管理業務の内容

- (1) 施設の運営
- (2) 施設の維持管理業務
- (3) 傷病鳥獣等の保護・飼養等業務 等

3 指定管理期間の設定

5年間（令和6年4月1日～令和11年3月31日）

4 指定管理者の選定方法

公募により選定する

5 選定委員会の設置

外部有識者3名、県関係2名、合計5名により審査を行う

6 指定管理者更新スケジュール

- ・公募（7月～9月のうち2ヶ月間） 募集要項等の公告、現地説明会の開催、申請受付
- ・選定（10月～11月） 選定委員会における審査
- ・指定管理者の指定（12月） 議会の議決、県報への公告
- ・基本協定の協議、締結（1月～3月）

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績について

令和4年度 森林湖沼環境税 税収額・支出額

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

	当初計画	決算見込み
税収額	1,779,026千円	1,784,784千円
支出額〔税充当額〕	2,092,122千円 (314,523千円)	1,272,849千円 (313,133千円)
森林の保全・整備	1,241,576千円 (236,665千円)	711,093千円 (235,306千円)
湖沼・河川の水質保全	850,546千円 (77,858千円)	561,756千円 (77,827千円)

※ 当初計画の支出額（事業への税充当額）と税収額の差については、前年度までの森林湖沼環境基金の残額を充当

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【森林関係】

1 自立した林業経営による適切な森林の整備・管理

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

事業内容	当初計画	実績	
いばらきの森再生事業			
経営規模の拡大に意欲的な林業経営体が行う再造林、間伐等の森林整備に対し補助	再造林 150ha 間伐 1,165ha (再造林・間伐の計 400ha)	再造林 121ha 間伐 441ha (再造林・間伐の計 404ha)	 <p>人工林伐採後の再造林</p>
	739,320千円 (194,320千円)	406,444千円 (192,975千円) ※このほか、R5年度に繰り越して実施予定	
いばらき林業トッランナー育成支援事業			
本県林業を牽引するトッランナーを育成するため、経営規模の拡大に意欲的な経営体による高性能林業機械やスマート林業技術の導入に対し補助	スマート林業に取り組む経営体 5経営体 150,000千円	スマート林業に取り組む経営体 6経営体 71,021千円 ※このほか、R5年度に繰り越して実施予定	 <p>高性能林業機械による伐採作業</p>

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【森林関係】

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

事業内容	当初計画	実績	
種苗生産体制整備事業			
<p>再造林の推進に伴い供給増が求められている林業用苗木の安定供給を図るため、採種園を整備するとともに、コンテナ苗の生産技術を改良</p>	<p>採種園整備 0.1ha</p> <p>コンテナ苗の生産に係る技術改良</p> <p>3,000千円</p>	<p>採種園整備 0.1ha</p> <p>コンテナ苗の生産に係る技術改良</p> <p>2,611千円</p>	 <p>コンテナ苗生産に係る技術改良</p>
いばらき木づくりチャレンジ事業			
<p>県産木材の利用促進を図るため、モデルとなる建築物の木造化・木質化等の取組に対し補助</p>	<p>木造化・木質化 10施設 (3施設)</p> <p>木製品導入 1施設</p> <p>157,800千円 (30,000千円)</p>	<p>木造化・木質化 3施設 (3施設)</p> <p>木製品導入 1施設</p> <p>41,276千円 (30,000千円)</p> <p>〔 ※このほか、R5年度に繰り越して実施予定 〕</p>	 <p>建築物の木造化 (竣工した大子町新庁舎)</p>

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【森林関係】

2 森林環境の保全

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

事業内容	当初計画	実績	
海岸防災林機能強化事業			
海岸防災林の機能強化を図るため、松くい虫被害予防の薬剤散布や広葉樹等の植栽を実施	薬剤散布 4 2 5 ha 広葉樹等植栽 8 ha 植栽地下刈 6 0 ha 130,000千円	薬剤散布 4 2 5 ha 広葉樹等植栽 6 ha 植栽地下刈 5 7 ha 129,125千円	 <p>下刈り後の植栽地</p>
森林・林業体験学習促進事業			
森林環境教育を推進するため、小中学生等を対象に森林・林業に係る体験学習を実施 森林湖沼環境税の意義や森林の働き・重要性等を啓発するため広報を実施	体験学習参加者 3, 5 0 0人 普及啓発活動の 実施 21,560千円	体験学習参加者 5, 5 9 1人 普及啓発活動の 実施 21,001千円	 <p>中学生の丸太切り体験</p>  <p>森林・林業に係る普及啓発活動</p>

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【森林関係】

(カッコ書きは前年度からの繰越分)

事業内容	当初計画	実績	
筑波山ブナ林保護対策事業			
筑波山のブナ林保護のため、生育環境の整備等を実施	ロープ柵設置 80m ブナ林の調査 2,417千円	ロープ柵設置 300m ブナ林の調査 (ブナ開花調査等) 筑波山ブナ林保護 対策委員会の開催 2,298千円	 <p>ブナ林保護対策委員会開催の様子</p>
第46回全国育樹祭開催準備事業			
令和5年11月11日(土)・12日(日)に開催する第46回全国育樹祭に向け、所要の準備を実施	実行委員会設立 第45回全国育樹祭出席 開催1年前イベント開催 実施計画策定 25,134千円	実行委員会設立 (5月) 第45回全国育樹祭出席 (11月・大分県) 開催1年前イベント開催 (12月・常陸太田市) 実施計画策定 (3月) 24,986千円	 <p>式典行事での次期開催県知事あいさつ (第45回全国育樹祭 大分県)</p>

令和4年度事業実施による効果【森林関係】

1 自立した林業経営を目指す経営体による森林経営集約化面積

令和3年度末：13,498ha → 令和4年度末：15,805 ha

2 森林整備（再造林、間伐等）による効果

(1) 森林整備の効果を公益的機能の観点から金額換算

→ 約9億2千万円に相当

①水源涵養：3億6千万円 ②土砂流出等防止：2億4千万円 ③二酸化炭素吸収：3億2千万円

(2) 森林整備に係る費用対効果は、約2.2倍（効果：9億2千万円／費用：4億1千万円）

令和5年度 of 取組【森林関係】

自立した林業経営により、適切な森林整備と森林資源の循環利用を推進することとして、引き続き、以下の施策に取り組んでいく

1 自立した林業経営による適切な森林の整備・管理

- 森林経営の集約化の加速、スマート林業など生産能力の向上に取り組むトップランナー経営体の育成
- 経営規模の拡大に意欲的な経営体による再造林の推進
- 素材生産量の増大を見据えた県産木材の利用推進

2 森林環境の保全

- 沿岸部の生活を守る海岸防災林の松くい虫被害対策
- 森林・林業体験学習による森林環境教育
- 第46回全国育樹祭の開催

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【湖沼関係】


1 生活排水等対策

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)



事業内容	当初計画	実績	
霞ヶ浦流域等高度処理型浄化槽補助事業			
浄化効果の高いNP型高度処理型浄化槽設置促進のため、上乘せ補助を実施 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進するため、撤去費用や宅内配管工事費を補助 <small>※NP型浄化槽設置補助・単独浄化槽撤去補助・宅内配管工事補助。複数の補助を利用した場合1件と計上</small>	補助件数※ 934件 400,177千円	補助件数※ 1,062件 296,957千円	 <p>高度処理型浄化槽の設置</p>
湖沼水質浄化下水道接続支援事業・農業集落排水施設接続支援事業			
下水道及び農業集落排水の整備済み地域において、未接続世帯を解消するために市町村が行う接続支援に対して補助	下水道 979件 (222件) 212,918千円 (62,618千円) 農業集落排水施設 120件 26,000千円	下水道 551件※ (222件) 85,445千円 (62,618千円) ※このほか、R5年度に繰り越して実施予定 農業集落排水施設 101件 16,004千円	 <p>左:下水道接続工事 右:農業集落排水施設接続工事</p>

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【湖沼関係】

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

事業内容	当初計画	実績	
霞ヶ浦・北浦点源負荷削減対策事業			
工場・事業場の排水基準の遵守徹底等のため、水質保全相談指導員を配置し、工場・事業場の立入検査等を実施	立入検査 2,100件 71,554千円	立入検査 2,277件 57,833千円	 <p>工場への立入検査</p>

2 農地・畜産対策

事業内容	当初計画	実績	
良質堆肥広域流通促進事業			
<p>畜産系負荷削減のため、霞ヶ浦・涸沼流域内で生産された堆肥を流域外で利用する集団（畜産農家と耕種農家で構成）への取組に対して補助</p> <p>家畜排せつ物の適正な処理と良質な堆肥等の生産を促進するための施設整備や機械導入等への補助</p>	<p>堆肥利用実証ほの設置 79ha (29ha)</p> <p>整備箇所数 4か所 (1か所)</p> <p>67,118千円 (15,240千円)</p>	<p>堆肥利用実証ほの設置 140ha (29ha)</p> <p>整備箇所数 4か所※ (1か所)</p> <p>※このほか、R5年度に繰り越して実施予定</p> <p>37,139千円 (15,209千円)</p>	  <p>左上:良質堆肥の散布 右下:堆肥舎</p>

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【湖沼関係】


3 県民意識の醸成

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)


事業内容	当初計画	実績	
県民参加水質保全活動推進事業			
子どもの頃から水辺環境に親しみ水環境保全の重要性を学ぶため、霞ヶ浦湖上体験スクールを実施	参加者数 3,200人 22,251千円	参加者数 3,882人 25,086千円	 <p>湖上体験スクール</p>
水質保全市民活動・環境学習等推進事業			
市民活動を促進するため、環境保全活動や環境学習に必要な機材の貸出し及び市民団体への活動費補助を実施 霞ヶ浦自然観察会などの体験型環境学習等を実施	補助団体数 10団体 11,955千円	補助団体数 11団体 11,467千円	 <p>市民団体の環境保全活動を支援</p>

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【湖沼関係】

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

事業内容	当初計画	実績	
漁場環境・生態系保全活動支援事業			
漁業者等による植生（ヨシ）帯の保全活動等に対して補助	支援団体数 5活動組織 2,000千円	支援団体数 5活動組織 1,342千円	 <p>植生(ヨシ)帯の保全活動</p>

4 水辺環境の保全

事業内容	当初計画	実績	
漁業による水質浄化機能促進事業			
未利用魚の回収委託（魚体を通じた窒素・りん除去）	未利用魚回収量 320トン 13,085千円	未利用魚回収量 303.6トン 11,897千円	 <p>未利用魚を回収</p>

令和4年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【湖沼関係】

(カッコ書きは前年度からの繰越分)

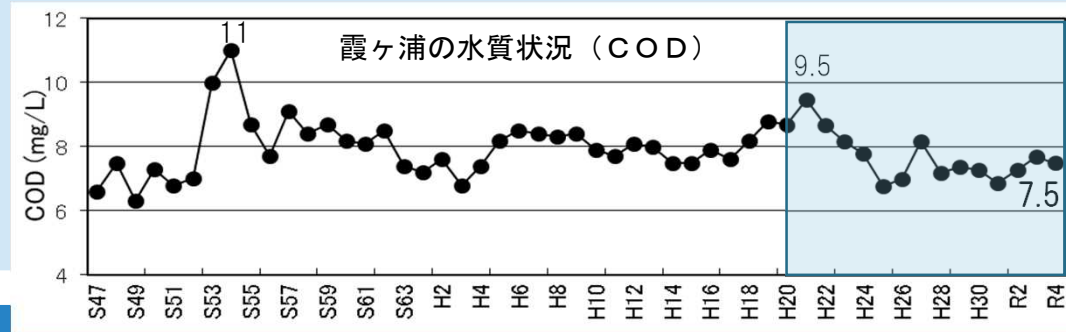
事業内容	当初計画	実績	
アオコ対策事業			
霞ヶ浦流域や千波湖におけるアオコ回収等の実施	アオコ回収等 3,500千円	アオコ発生情報等を 関係機関と共有 (回収等対策が必要な アオコの発生は無し) 213千円	 <p data-bbox="1659 847 1921 874">アオコフェンスの設置</p>
霞ヶ浦水質環境改善事業			
霞ヶ浦等の水質改善に向けた調査研究	水質改善に向けた調査研究 19,988千円	水質改善に向けた調査研究 18,373千円	 <p data-bbox="1552 1350 2018 1377">霞ヶ浦環境科学センターにおける研究</p>

令和4年度事業実施による成果【湖沼関係】

高度処理型浄化槽への転換や下水道等への接続、堆肥の流域外利用等により、河川・湖沼への汚濁負荷を削減

年間負荷削減量 COD：64.2トン [達成率約96%]
 全窒素：約66.6トン[82%] 全りん：約6.74トン[98%]

→平均的な家庭が1年間に排出する汚濁負荷量(COD)約9,200世帯分に相当



令和5年度の取組【湖沼関係】

霞ヶ浦等の水質を着実に改善していくよう、引き続き水質浄化効果が高い事業に重点化して実施する。

ア 生活排水等対策の推進

- 単独処理浄化槽の撤去費・宅内配管工事費補助を行い、合併処理型浄化槽への転換を促進
- 霞ヶ浦流域等において、浄化能力の高いNP型高度処理型浄化槽の設置及び下水道等への接続を促進
- 霞ヶ浦流域において、規制強化した小規模事業所に対し、立入検査・改善指導等を実施

イ 農地・畜産対策の推進

- 霞ヶ浦及び涸沼流域内での良質な堆肥等の生産とそれらの流域外利用を促進

ウ その他（県民意識の醸成、水辺環境の保全）

- 霞ヶ浦湖上体験スクールの実施や環境学習指導者の養成
- 未利用魚の回収（魚体に含まれる窒素やりんの湖外への取り出し）

県民に対する森林湖沼環境税の周知

【森林・湖沼共通】

森林及び湖沼・河川の環境保全の重要性、必要性を広く県民の皆様に理解いただくため、以下のような取組を通じて普及啓発を図っていく。

- ・ 県広報紙「ひばり」への特集記事掲載
- ・ 森林・林業体験学習、湖上体験スクールを通じた子供たちへの環境教育
- ・ 子供向け読本の作成・配布
- ・ イベント等を活用したPR
- ・ 啓発グッズの作成・配布
- ・ 県HPでの広報
- ・ いばキラTVを通じた啓発動画の公開



県広報紙「ひばり」R4年7月号



イベントにおけるPR
(R4.11.23 グリーンフェスティバル)



PR動画の公開

霞ヶ浦の令和4年度水質概況について

環境対策課

1 湖内の状況

(1) COD (図1)

全水域平均で7.5 mg/Lとなり、令和3年度(7.7 mg/L)より0.2 mg/L低くなった。近年は7 mg/L台で推移している。

(2) 全窒素 (図2)

全水域平均で0.69 mg/Lとなり、令和3年度(0.83 mg/L)より0.14 mg/L低くなった。長期的には横ばいだが、近年は低下傾向で推移している。

(3) 全りん (図3)

全水域平均で0.083 mg/Lとなり、令和3年度(0.10 mg/L)より0.017 mg/L低くなった。平成10年度以降、横ばいで推移している。

図1 COD(年平均値)

水域/年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7目標
西浦	6.9	6.7	6.4	6.7	7.2	6.9	6.4
北浦	8.4	8.4	7.8	8.7	9.0	8.9	8.2
常陸利根川	7.5	7.6	7.1	7.1	7.6	7.2	6.8
全水域平均	7.4	7.3	6.9	7.3	7.7	7.5	6.9

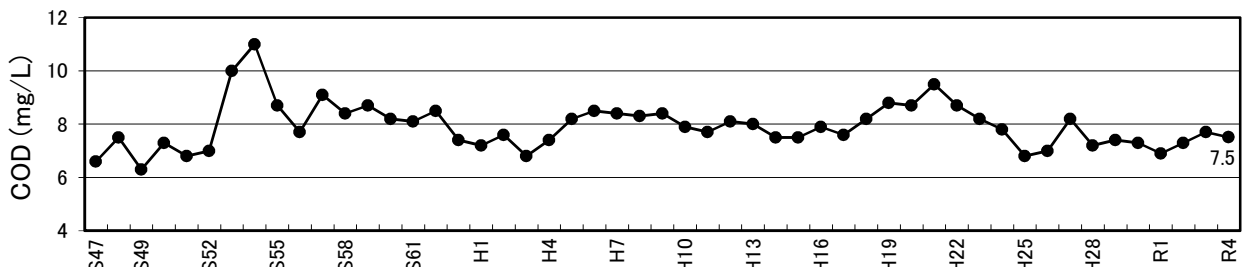


図2 全窒素(年平均値)

水域/年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7目標
西浦	0.99	0.88	1.1	0.82	0.82	0.62	0.77
北浦	1.2	1.3	1.4	1.3	0.94	0.94	1.2
常陸利根川	0.86	0.96	1.1	0.80	0.74	0.58	0.76
全水域平均	1.0	1.0	1.1	0.94	0.83	0.69	0.88

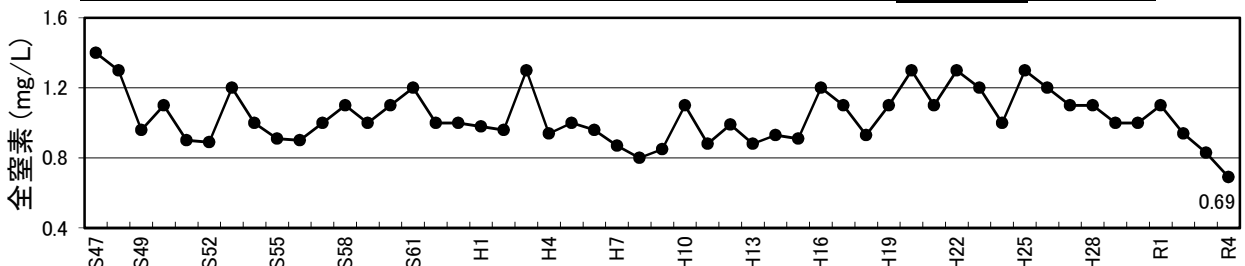
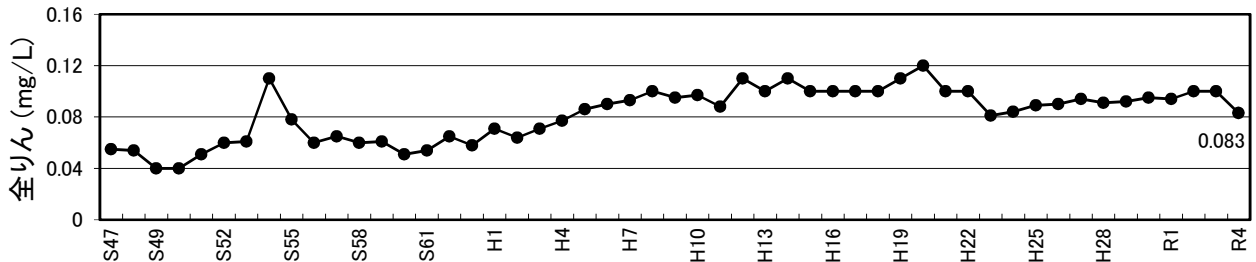


図3 全りん(年平均値)

水域/年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7 目標
西 浦	0.086	0.084	0.088	0.092	0.098	0.077	0.087
北 浦	0.11	0.12	0.11	0.13	0.11	0.096	0.12
常陸利根川	0.088	0.093	0.091	0.097	0.095	0.083	0.093
全水域平均	0.092	0.095	0.094	0.10	0.10	0.083	0.095



2 流入河川の状況

(1) COD

西浦及び北浦流入河川ともに、長期的には低下傾向にある。

(2) 全窒素

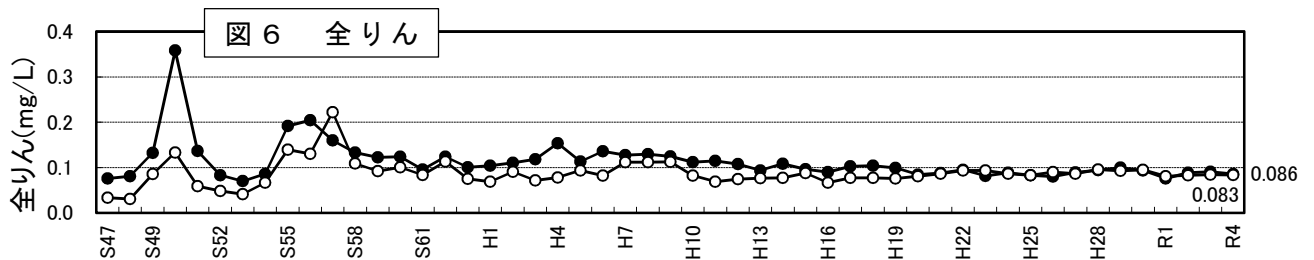
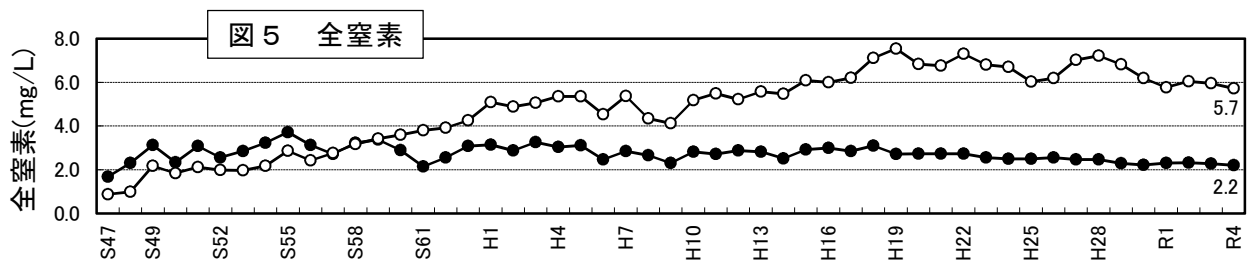
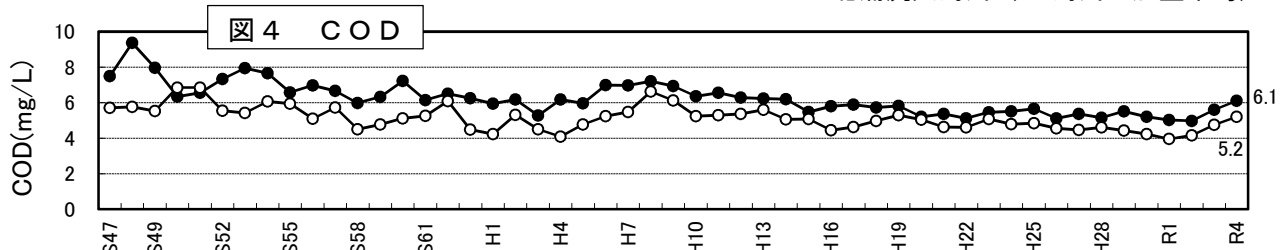
西浦流入河川は、長期的には横ばいである。

北浦流入河川は、平成 15 年度以降ほぼ 6 ~ 7 mg/L 程度で推移している。

(3) 全りん

西浦及び北浦流入河川ともに、近年は 0.1 mg/L 以下で推移している。

● 西浦流入河川 (14 河川の加重平均)
○ 北浦流入河川 (8 河川の加重平均)



新産業廃棄物最終処分場の整備について

資源循環推進課

1 新産業廃棄物最終処分場整備事業の取組状況について

(1) 新産業廃棄物最終処分場の整備

- ・ 本年（2023年）3月末に新産業廃棄物最終処分場の施設配置、規模、構造等の基本設計が完了
- ・ 基本設計の概要版を作成し、日立市民に広くご理解いただけるよう広報・啓発を実施予定
- ・ 本年（2023年）4月から、事業主体である（一財）茨城県環境保全事業団が実施設計を実施中

(2) 新産業廃棄物最終処分場周辺道路の整備

- ・ 新設道路整備は、地質調査、詳細設計等を実施しており、今後、用地取得予定
- ・ 県道 37 号の片側歩道整備（上諏訪橋付近～処分場）・局部改良（大平田集会所付近～処分場）及び油縄子交差点は、詳細設計を実施中
- ・ 梅林通りのガードパイプ設置は、6月に着工し、11月までに完了予定
- ・ 今後、地権者や4学区コミュニティなどの関係者に対して、道路計画等の周知・説明を実施予定

(3) 生活環境影響調査

- ・ （一財）茨城県環境保全事業団において、廃棄物処理法に基づく大気質や騒音などの生活環境影響調査を実施済み
- ・ 第4回生活環境調査委員会（令和5年3月実施）で予測及び影響の分析を行った結果、施設の稼働後も生活環境の保全目標を達成するとの評価
- ・ 建設工事による周辺環境への影響などについても、予測及び評価を実施予定

2 整備のスケジュールについて

年度	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9～ (2027)
処分場 整備	実施設計	建設工事			埋立開始 ※1
	生活環境 影響調査				
新設道路	測量・設計 用地取得等	建設工事 ※2			

☆供用開始

【令和8(2026)年度末】

※1 第2期～第4期埋立地の遮水工は、埋立ての進捗に合わせて整備予定

浸出水第2調整槽は、第2期埋立地の埋立開始までに整備予定

浸出水の処理施設や第1調整槽は、令和8(2026)年度末の供用開始までに整備予定

※2 用地取得や関係機関協議が順調に進んだ場合

1 埋立地（オープン型）

搬入された廃棄物を埋立てる場所

- 浸出水の発生を抑制するため、埋立地を2区画に分け、下流側（北側）から埋立を開始する
- 周辺環境保全のため、廃棄物を即日覆土するセル方式とする

面積：約9.3ha 埋立容量：約240万m³
 埋立計画量：約10万m³/年
 埋立期間：20～23年
 埋立地構造：準好気性埋立構造

2 貯留構造物

廃棄物層の流出や崩壊を防ぎ、埋立てられた廃棄物を安全に貯留させるために設置
 盛土構造によるアースダムを採用

◇受入対象廃棄物

[産業廃棄物]

燃え殻、汚泥（無機性のものに限る）、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず（廃石膏ボードを含む）、鋳さい、がれき類、ばいじん

[一般廃棄物]

地方公共団体の焼却施設から出た焼却灰等、災害廃棄物

◇受入基準

法令より厳しい基準を採用

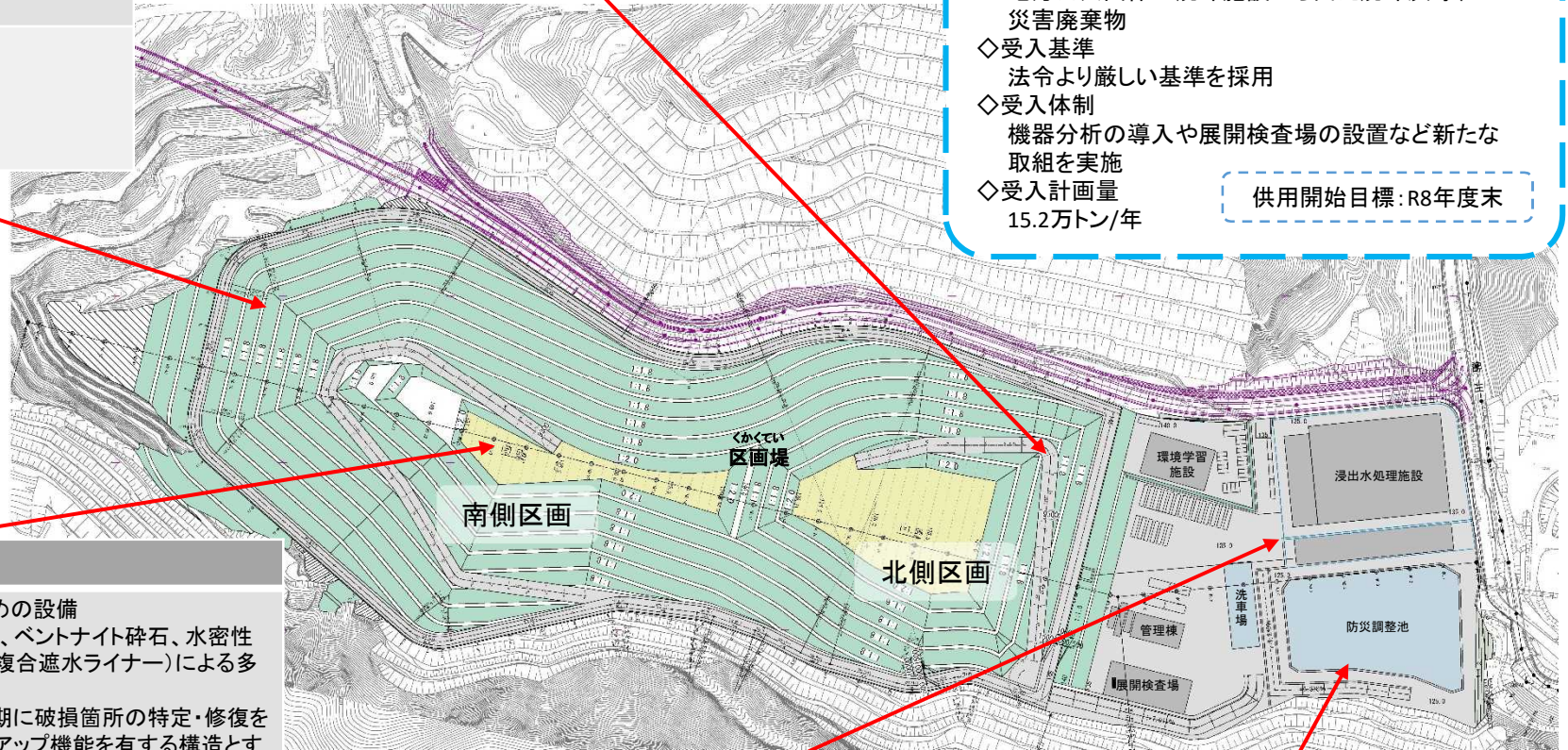
◇受入体制

機器分析の導入や展開検査場の設置など新たな取組を実施

◇受入計画量

15.2万トン/年

供用開始目標：R8年度末



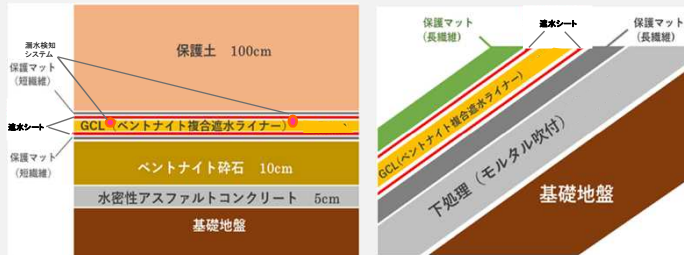
3 遮水工

埋立地内の浸出水を外部へ漏出させないための設備

- 基準省令に基づく二重の遮水シートに加え、ベントナイト砕石、水密性アスファルトコンクリート、GCL（ベントナイト複合遮水ライナー）による多重の遮水構造とする
- 万が一、遮水シートが破損した場合に、早期に破損箇所の特定・修復を行うための漏水検知システムによるバックアップ機能を有する構造とする

〔本処分場の遮水工概念図〕

【表面遮水工（埋立地内）】



4 浸出水処理施設

埋立地内から発生する浸出水を滞りなく貯留及び浄化するための施設
 （浄化処理後は下水道へ放流）

処理能力：400m³/日
 調整槽容量：28,000m³程度

5 防災調整池

埋立地の周辺で降った雨水の流出量の増大を抑制し、鮎川の流下能力に見合った放流量を調整するための施設

容量：35,000m³程度

サイクルツーリズムの推進について

スポーツ推進課

1 令和4年度サイクルツーリズム推進事業の主な実績

(1) つくば霞ヶ浦りんりんロードの利用者数（推計値※沿線定点観測をもとに推計）

- 利用者数 125,000人
- 対前年度比 15,000人増（1.14倍）
- 概況
 - ・ 利用者数は堅調に増加

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
利用者数(人)	39,000	48,000	55,000	81,000	93,000	105,000	110,000	125,000
対前年度比(人)	—	+9,000 (1.23倍)	+7,000 (1.15倍)	+26,000 (1.47倍)	+12,000 (1.15倍)	+12,000 (1.13倍)	+5,000 (1.05倍)	+15,000 (1.14倍)

- ・ 広域レンタサイクルの貸出台数も大きく増加

	R3	R4	増減 (R4-R3)
広域レンタサイクル貸出台数	3,161台	3,876台	+715台 (1.23倍)

(2) 県内サイクリングイベント

- ・ プレデスティネーション期間を中心に、新たなサイクリングイベントやレースの開催など、沿線市町村や民間による取組は増加。

	R3年度	R4年度	増減 (R4-R3)
サイクリングイベント件数 (沿線市町村・民間)	29件	69件	+40件 (2.38倍)

2 各種プロモーション

(1) 台北サイクル2023出展

台湾最大のサイクルショーに出展し、本県のサイクルツーリズムをPR

【開催日】令和5年3月22日（水）～25日（土）

【場 所】南港エキシビションセンター（台湾・台北市）

【主 催】台湾貿易センター（TAITRA）（日本のジェトロに相当）

【来場者】17,600人



(2) TXサイクルトレイン

- ・ つくばエクスプレス、初めてのサイクリスト限定の臨時列車を運行
- ・ 雨天により当日キャンセルも発生したが、参加者からは「自転車を分解せずに済みとても楽」、「到着が早い」など好評。

【実施日】令和5年3月25日（土）

（往路）南千住（8:03発）～八潮（8:16発）

～研究学園（8:54着）

（復路）研究学園（16:21発）～

八潮（16:51着）～南千住（17:07着）

【参加者】28名（定員72名）

【主催】首都圏新都市鉄道株式会社



(3) CYCLE MODE TOKYO出展

- ・ 国内最大のサイクルショーに、ナショナルサイクルルートの一つとして出展
- ・ 多くの首都圏サイクリスト等から、行き方や見どころの質問が寄せられた

【開催日】令和5年4月15日（土）～16日（日）

【場所】東京ビッグサイト

【主催】サイクルモード実行委員会

【来場者】23,800人



3 サイクリングイベント

- ・ 様々な主体による多彩なサイクリングイベント開催（上半期予定）

イベント名	主催	開催日	概要
霞ヶ浦サイクルーズ	土浦市・潮来市・行方市・かすみがうら市	4/29、5/3、5/6、9/30	遊覧船に自転車を載せ、寄港先（土浦港、歩崎棧橋、玉造棧橋、潮来港）から様々なコースで霞ヶ浦を満喫
いばチャリ in 常陸大宮	茨城放送・常陸大宮市	5/28	茨城放送ラジオパーソナリティーがゲストライダーとして参加者と交流（約30km、スタート・ゴール：美和地域センター）
2023K1 （第3回新霞ヶ浦一周サイクリング大会）	いばらきサイクリング協会	6/4	霞ヶ浦一周（霞ヶ浦大橋コース約90km、高浜フルコース約125km）を走るサイクリング大会（スタート・ゴール：霞ヶ浦総合公園）
いばらきKOM in 八溝山	大子町	7/16	大子広域公園を会場に、茨城最高峰八溝山のヒルクライムレース（スタート：旧浅川小学校前、ゴール：八溝山富士見ヶ丘）
駅からサイクリング	JR東日本水戸支社	5/1～7/31	ひたちなか市～大洗町～水戸市等を走行する、観光流動の促進としてJR東日本水戸支社が実施するサイクリングイベント
水郡線サイクルトレインキャンペーン	大子町	4/29～7/2	水郡線サイクルトレインの魅力をSNS発信してくれた方にオリジナルスタッフバック進呈

県 出 資 団 体 等 改 革 工 程 表

(令和5年第2回定例会防災環境産業委員会資料)

- 1 鹿島共同再資源化センター株式会社【資源循環推進課】 2

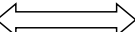
令和5年6月16日

県民生活環境部

改革工程表2(年度別計画)

団体名	鹿島共同再資源化センター(株)	所管部局課名	県民生活環境部資源循環推進課
-----	-----------------	--------	----------------

取り組むべき項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<p>安定的な経営体制の確立・施設維持管理の適正実施</p> <p>1 廃棄物処理量の維持</p>	<p>年間51,000t以上の受入量の確保</p> <p>[52,472t]</p>	<p>年間51,000t以上の受入量の確保</p> <p>[49,764t]</p>	<p>年間51,000t以上の受入量の確保</p> <p>[28,000t]</p>
<p>2 経常利益の黒字化、損失の抑制</p> <p>・令和4年度までは、老朽化による突発故障を防止することで受入量を確保し、収益の改善を目標とした。</p> <p>・令和5年度は、令和5年11月に事業停止予定であることから、収入(廃棄物処理量)が減少するため、損失の抑制が必要。</p>	<p>経費縮減・計画的修繕の実施による経常利益の達成(黒字化)</p> <p>[経常利益 26,212千円] [繰越損失 2,137,665千円]</p>	<p>経費縮減・計画的修繕の実施による経常利益の達成(黒字化)</p> <p>[経常損失 238,904千円] [繰越損失 2,377,573千円]</p>	<p>経費縮減・計画的修繕の実施による経常利益の達成(黒字化)</p> <p>【損失の抑制】</p>
<p>3 法人の今後のあり方の検討</p> <p>鹿島地方事務組合の新ごみ処理施設が、令和6年4月に稼働予定であること等を踏まえ、当法人は、令和5年11月末日に事業停止することを決定した。施設の処分等、今後のあり方や、法人の解散・清算の時期等について、検討する必要がある。</p> <p>【令和5年3月末 資本金 3,308,000千円】</p>	<p>関係者間において法人のあり方を検討</p> <p>【「当法人と主要株主との間で協議を重ねていく」との方針を決定】</p>	<p>関係者間において法人のあり方を検討</p> <p>【令和4年度に協議を重ねた結果、令和5年5月に「令和5年11月末日に事業停止し、解散・清算について、当法人と主要株主との間で協議を重ねていく」との方針を決定】</p>	<p>関係者間において法人のあり方を検討</p>
<p>4 進行管理結果の公表</p>	<p>関係者間において法人のあり方を検討</p> <p>【R3. 6月 県議会報告】 【R3. 6月 県ホームページ公表】</p>	<p>関係者間において法人のあり方を検討</p> <p>【R4. 6月 県議会報告】 【R4. 6月 県ホームページ公表】</p>	<p>関係者間において法人のあり方を検討</p>

※注  は改革期間及び推進事項を表示。[]は目標達成状況、【 】は修正後の目標を表示